

大和川水環境白書

令和2年3月

大和川水環境協議会

目 次

1.	はじめに.....	1
2.	大和川流域の概要.....	3
2.1	流域の概況.....	3
2.2	水質環境基準の類型指定.....	4
3.	計画のあらまし.....	5
3.1	大和川水環境改善計画とは.....	5
3.2	計画の目標年.....	5
3.3	水環境改善の方向性.....	5
3.4	目標指標の設定.....	5
4.	目標指標の状況.....	7
4.1	改善項目（BOD）.....	7
4.2	住民連携項目.....	15
5.	監視項目の状況.....	17
5.1	アンモニア性窒素.....	17
5.2	糞便性大腸菌群.....	19
5.3	T-N(全窒素)、T-P(全リン).....	21
5.4	陰イオン界面活性剤.....	22
6.	施策の実施状況.....	23
6.1	施策の概要.....	23
6.2	取り組みの例.....	24

1. はじめに

大和川の水質は、昭和 45 年には本川 8 地点の平均水質（BOD75%値）が 31.6mg/L となるなど、高度成長期に劣悪な水質を呈していた。このため、国土交通省、奈良県、大阪府、流域の関係市町村が連携して「大和川水質汚濁防止連絡協議会（昭和 42 年 5 月）」、「大和川清流ルネッサンス協議会（平成 5 年 11 月）」を設立し、それぞれ工業排水と生活排水を対象とし大和川の水質改善に取り組んできた。また、平成 17 年 9 月には両協議会を統合した「大和川水環境協議会」を発足し、平成 18 年 9 月に C プロジェクト計画 2006（水環境編）を策定し、平成 22 年の平城遷都 1300 年を目標年とした 3 つの水環境改善対策について、流域住民・関係機関等が連携・協働した活動が繰り返されてきた。

その結果、平成 20 年には本川 8 地点全てにおいて BOD が環境基準を達成して全国の一級水系ワースト 1 を脱却したほか支川においても環境基準に近いレベルまで改善するなど大きな成果が現れてきた。

しかし、依然として環境基準を達成できていない支川は多いうえ、目標像として掲げた「子どもが水しぶきをあげて遊べる河川」や「ホテル等のすめる川」にはなっていないというのが実感と思われる。さらに、奈良県の「なら水循環ビジョン」における里川の再生や流域に住む方々からの声として「いいものが流れる川づくり」、「海から見た川づくり、里山づくり」、「親水という人の心が地域になじむ取り組み」、「川の物質循環の中で生きる折り合いをつける工夫」など、これまでにない発想による水質改善に対する意見も寄せられている。

このため、大和川水環境協議会では、「大和川水環境改善計画（事業期間：平成 23 年度～平成 27 年度）」を平成 24 年 2 月に策定し、水環境の改善に向けた取り組みを進めているところであるが、目標像として掲げる「遊べる大和川」、「生きものにやさしい大和川」、「地域で育む大和川」を実現するには至っていない。

以上のような経緯をふまえ、目標像の実現に向けて、さらなる水環境改善のための取り組みを推進することを目的として、平成 32 年度を目標とした「大和川水環境改善計画」を平成 28 年 2 月に改定した。本計画では、従前計画における水環境改善の方向性・目標像は継続し、課題に応じたきめ細やかな目標を設定している。

本計画に定める水環境改善のための取り組みは、国、府県、市町村、住民等の関係機関が連携し、それぞれの主体の実情に応じて、実行可能なものから着実に実施する。また、計画がより効果的なものとなるように、その進捗状況や水環境改善状況等についてモニタリングを行うとともに、施策の評価を行い、必要に応じて施策の見直しや新規施策の導入を図る。

本冊子は、大和川水環境改善計画の平成 30 年度等の取り組み成果を踏まえて、目標水質の達成状況、施策目標の達成状況、計画施策の実施状況の点検及び課題整理を行い、その結果概要をとりまとめたものである。

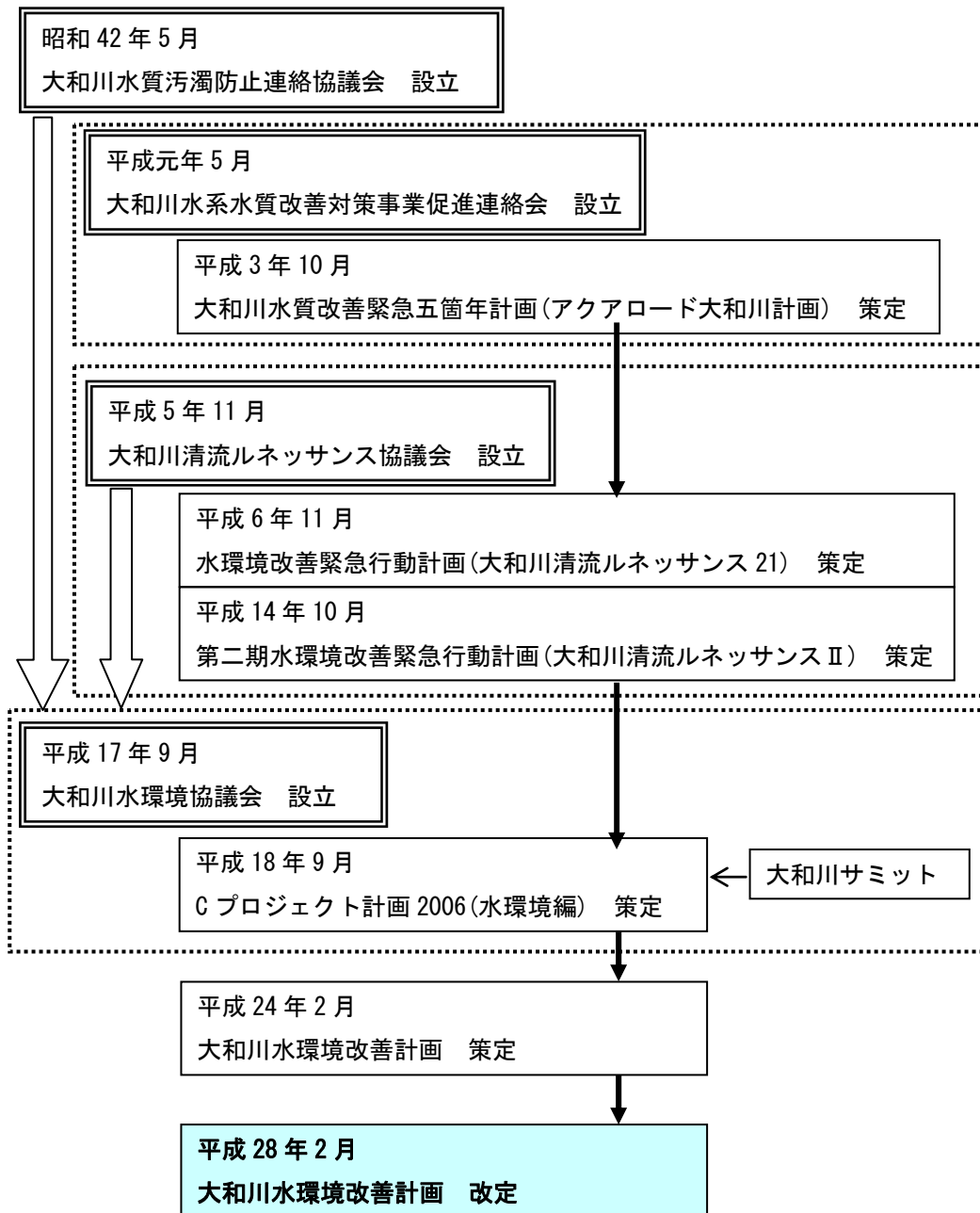


図 1.1.1 大和川の水環境保全に係る流域連携のあゆみ

【大和川水環境協議会】

国土交通省・奈良県・大阪府

奈良市・大和高田市・大和郡山市・天理市・橿原市・桜井市・御所市・生駒市・香芝市・葛
 城市・平群町・三郷町・斑鳩町・安堵町・川西町・三宅町・田原本町・高取町・

明日香村・上牧町・王寺町・広陵町・河合町

大阪市・堺市・八尾市・富田林市・河内長野市・松原市・柏原市・羽曳野市・藤井寺市・大
 阪狭山市・河南町・太子町・千早赤阪村

2. 大和川流域の概要

2.1 流域の概況

大和川は、水源を笠置山地に発して初瀬川溪谷を北西に流れ、奈良盆地周辺の山地より南流する佐保川、秋篠川、富雄川、竜田川、北流する寺川、飛鳥川、曾我川、葛下川等の大小の支川を合わせながら西流する。その後、大阪府と奈良県の府県境にある亀の瀬狭窄部を経て河内平野に入り、和泉山脈を水源とする左支川石川、東除川、西除川を合わせ、浅香山の狭窄部を通過し、大阪湾に注ぐ幹川流路延長68km、流域面積1,070 km²の一級河川である。

流域の市町村は大阪市、堺市、柏原市、奈良市、橿原市など20市14町2村にまたがり、流域内人口は約206万人(平成30年度時点)である。

大和川流域内人口は、昭和30年代までは100万人以下であったが、昭和40年代からの急激な都市化に伴い、奈良県域及び大阪府域ともに人口が急増し、昭和60年代に200万人に達し、平成元年以降は概ね横ばいで推移している。

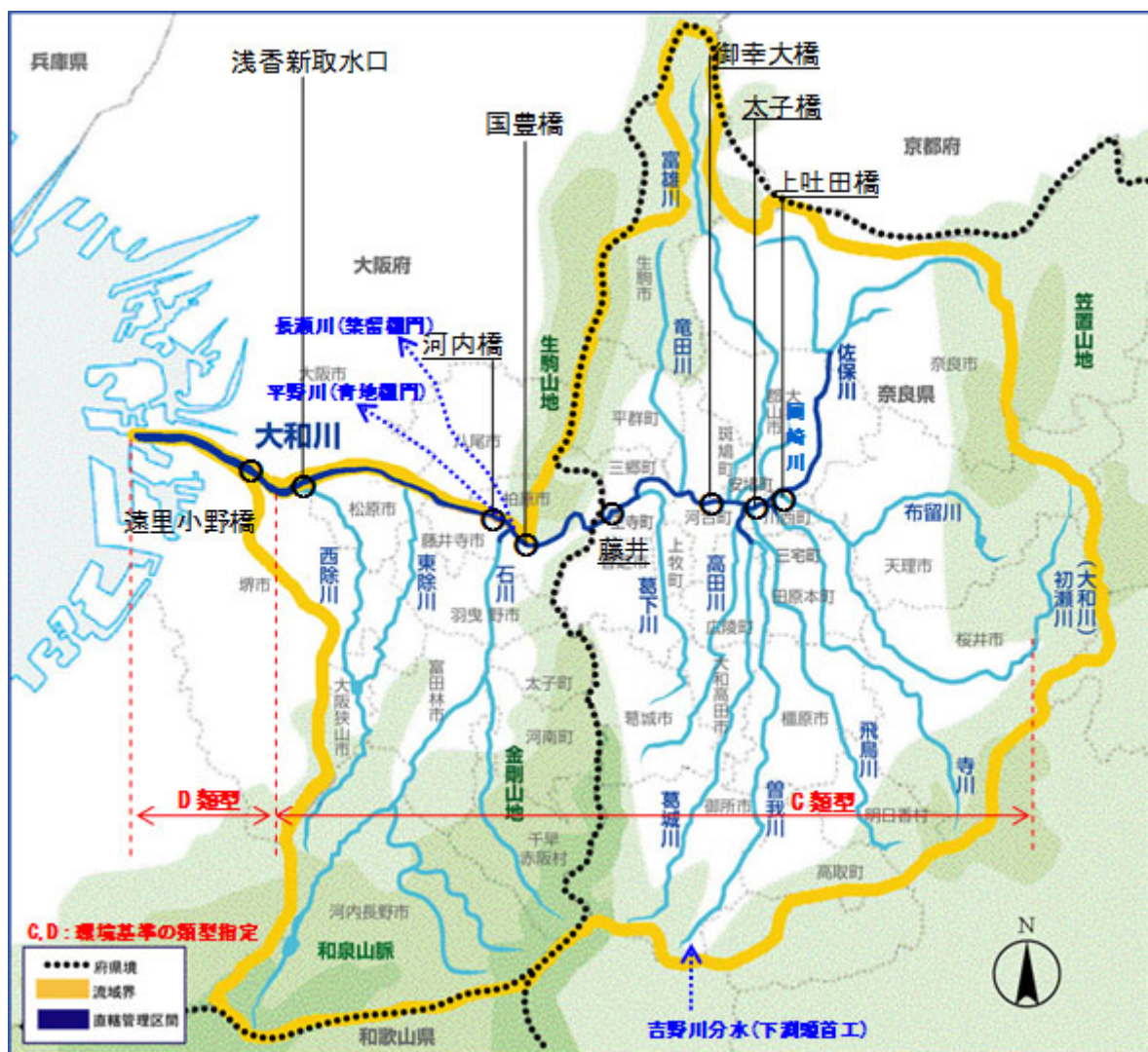


図 2.1.1 大和川流域の概要

2.2 水質環境基準の類型指定

大和川の水質基準は、昭和42年制定の公害対策基本法に基づき、昭和45年に水質の環境基準が定められ、公共用水域の水質保全のため、排出規制、下水道整備等を総合的に推進するための共通の行政目標が設定されている。

大和川本川における生活環境の保全に関する環境基準として、BODについては、桜井市初瀬取水口より上流がA類型(BOD2mg/L以下など)、桜井市初瀬取水口から浅香山までがC類(BOD5mg/L以下など)、浅香山から下流がD類型(BOD8mg/L以下など)に指定されている。

なお、表2.2.1に示すように大和川水域では水生生物の保全に関する環境基準も類型指定されている。平成24年8月及び平成25年3月に、水質汚濁に係る環境基準の改正があり、水生生物の保全に関する環境基準にノニルフェノール及びLAS(直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩)が追加されている。

表 2.2.1 水生生物の保全に関する環境基準の類型指定の概要

管理者	水域名	達成期間	水域類型	全亜鉛 (mg/L)	ノニルフェノール (mg/L)	LAS (mg/L)
国	大和川本川(全域)	イ	生物B	0.03	0.002	0.05
大阪府	石川	イ	生物B	0.03	0.002	0.05
	千早川	イ	生物B	0.03	0.002	0.05
	天見川	イ	生物B	0.03	0.002	0.05
	石見川	イ	生物A	0.03	0.001	0.03
	飛鳥川	イ	生物B	0.03	0.002	0.05
	梅川	イ	生物B	0.03	0.002	0.05
	佐備川	イ	生物B	0.03	0.002	0.05
	東除川	ロ	生物B	0.03	0.002	0.05
	西除川(狭山池上流)	イ	生物B	0.03	0.002	0.05
参考	水域類型指定の適応性					
生物A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域					
生物B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域					

注1) 基準値は、年間平均値とする。

注2) 表の達成期間は以下に定める通りとする。

イ：直ちに達成する ロ：5年以内に可及的速やかに達成する

【全亜鉛】

- 亜鉛は、シャンプーなど身の回りで使用する多種多様な製品に含まれており、水域中では特に水生植物(藻類や水草等)への毒性が認められている。

【ノニルフェノール】

- ノニルフェノールは、非イオン界面活性剤のノニルフェノールエトキシレートが水環境中で微生物によって分解される化学物質であり、環境ホルモンの疑いがもたれている。ノニルフェノールエトキシレートは主に工業用の洗浄剤、分散剤等として利用されている。

【LAS(直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩)】

- LASは、家庭用の洗濯洗剤や業務用洗剤、繊維工業用染色助剤、農薬乳化剤、羊毛・合繊の洗剤等に使用されており、水生生物に対し有害性が指摘されている。

3. 計画のあらまし

3.1 大和川水環境改善計画とは

大和川流域の住民や事業者、大和川流域 36 市町村、奈良県、大阪府、国土交通省等が役割分担し、身近な河川や大和川をきれいにするための水環境の改善対策を推進するための実施計画である。本計画では、大和川の水環境改善の方向性の提示、その実現にふさわしい指標の選定及び目標値の設定を行っている。

3.2 計画の目標年

平成 27 年度に策定し、平成 32 年度を目標年とする 5 ヶ年計画である（平成 28 年度から適用）。

3.3 水環境改善の方向性

「遊べる大和川」「生きものにやさしい大和川」「地域で育む大和川」を水環境改善の方向性（目標像）とし、課題に応じたきめ細やかな目標を設定している。

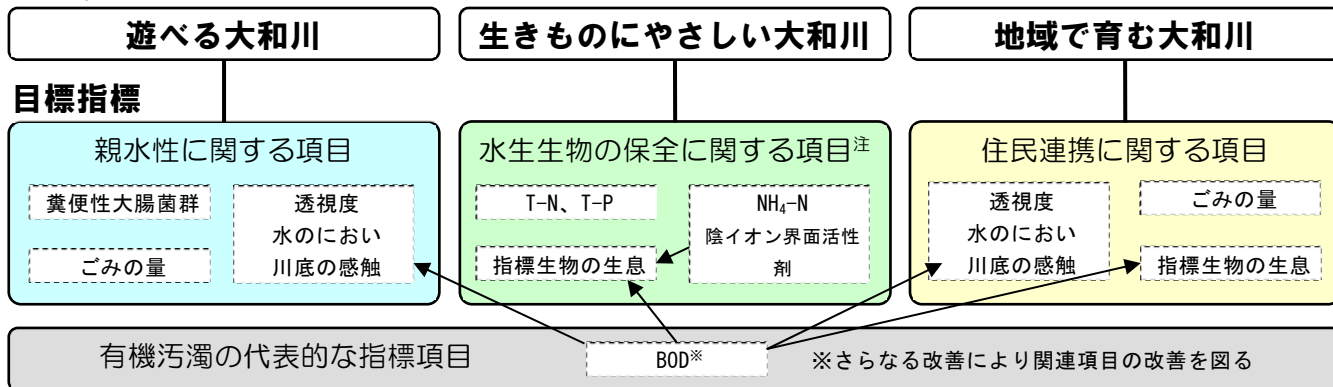
表 3.3.1 大和川水環境改善の方向性

遊べる大和川	大和川の本川・支川それぞれの水辺状況等を踏まえて、「水遊びができる」や「親しめる」等の水環境の改善を推進する。
生きものにやさしい大和川	本川や支川の水環境は、本川、支川及びなにわの海の生きものの生育・生息に関わっており、多様な生きものにやさしい水環境の再生を目指し、動植物の生育・生息環境と水環境の関係の調査研究を進め、生物多様性の保全と再生を推進する。
地域で育む大和川	「水を汚さず、汚した水をきれいに流す」、「散乱ごみをなくす」、「生きものに影響を与える物質は使わないようにする」、「水は有効に利用する」等、水に愛着を持って守りながら使う「里川の再生」を大和川本川及び支川毎に地域ぐるみで一体となって推進する。
<p>「緊急時の水道利用の可能性について」 上記の実施により、緊急時に飲み水用の水源として、本川からの取水が可能になるような水環境改善効果を期待している。</p>	

3.4 目標指標の設定

水環境改善の方向性にふさわしい目標指標が図 3.4.1 のとおり設定されている。また、各目標指標における目標値を、表 3.4.1 のとおり設定している。

水環境改善の方向性



注：水生生物の保全に関する環境基準項目である全亜鉛（H15.11.5 環境省告示）、ノニルフェノール（H24.8.22 環境省告示）、LAS（直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩）（H25.3.27 環境省告示）については、現時点で環境基準値を満足していることから目標値は設定しないが、経過観察することとする。

図 3.4.1 水環境改善の方向性と目標指標の関連

表 3.4.1 目標指標の設定根拠、目標水質

目標指標	選定根拠	対応する目標像	目標水質	
BOD (改善項目)	<ul style="list-style-type: none"> 人為的な有機汚濁の代表的な指標であり、生活環境の保全に関する環境基準項目である。 透視度、水のおい、川底の感触とも関連する項目である。 	<ul style="list-style-type: none"> 遊べる大和川 生きものにやさしい大和川 地域で育む大和川 	計画目標の達成*	<ul style="list-style-type: none"> 75%値で評価 各地点で環境基準 B 類型(3mg/L 以下)相当を目指す 環境基準未達成の一部地点(重点区域)は環境基準達成を目指す 環境基準 A,B 類型相当の水質を達成している地点は現状維持(要監視)
透視度、水のおい、川底の感触、ごみの量 (住民連携項目)	<ul style="list-style-type: none"> 分かりやすく、流域住民になじみのある指標を用いることで、流域住民の意識向上と連携強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 遊べる大和川 地域で育む大和川 	B ランク	<ul style="list-style-type: none"> 人の感覚による水質指標で評価
指標生物の生息 (住民連携項目)		<ul style="list-style-type: none"> 生きものにやさしい大和川 地域で育む大和川 	B ランク	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな生態系の確保に係る水質評価ランクで評価
アンモニア性窒素 (監視項目)	<ul style="list-style-type: none"> 生活排水や畜産排水、工場排水に含まれるタンパク質や有機窒素化合物が分解する過程で発生し、水のおいとも関連する。 アユや底生生物の生息に支障を及ぼすと考えられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生きものにやさしい大和川 	B ランク (0.5mg/L 以下)	<ul style="list-style-type: none"> 「今後の河川水質管理の指標について(案)H21.3」における「生物の生息・生育・繁殖環境として良好(B ランク評価)」相当 BOD(N-BOD)の上昇や水生動物等への影響が考えられることから、極力低減する必要があるため、年度最大値で評価
糞便性大腸菌群数 (監視項目)	<ul style="list-style-type: none"> 水浴場の水質判定基準であり、検出数が多い水域では病原性細菌等による感染リスクが高くなる。 遊べる大和川を目指す上で、水質面での安全性の指標となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 遊べる大和川 	水質 C (1,000 個/100mL) 以下	<ul style="list-style-type: none"> 水浴場の判定基準「可」相当 夏季に上昇する傾向があることから、盛夏(7~8月)の平均値で評価
陰イオン界面活性剤 (監視項目)	<ul style="list-style-type: none"> 洗剤に含まれる成分であり、生活排水による汚濁と関連が強い項目である。 生物の生息に影響を及ぼしている可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 生きものにやさしい大和川 	さらなる削減	<ul style="list-style-type: none"> 「検出されないこと」が望ましいが、現況を踏まえると現実的ではないため、さらなる削減を目指し監視する 冬季に高くなる傾向があることから、1・2月の平均値で監視する
T-N、T-P (監視項目)	<ul style="list-style-type: none"> 閉鎖性水域の富栄養化防止と、海域への健全な栄養塩類の供給の視点から監視する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 生きものにやさしい大和川 	平成 18~22 年流出負荷量の変動の範囲内	<ul style="list-style-type: none"> 5ヶ年の変動幅と比較することで、大和川最下流部における経年的な変化を監視する

※大和川水環境改善計画において、BOD の目標水質を以下のとおり設定している。(大和川水環境改善計画より抜粋)
 「環境基準 B 類型以上相当の水質(3mg/L 以下)を目指すことを目標とする。しかし、一部の支川では環境基準未達成の状況がみられることから、まずは全ての地点で環境基準の達成を目指すこととし、平成 25 年度または平成 23~25 年度平均値で環境基準を未達成の 10 支川の流域については、重点区域として設定し、重点的な改善を目指す。現況で環境基準 A、B 類型相当の水質を達成している地点については、目標値を設定せず、現状維持(要監視)とする。」

表 3.4.2 目標指標の分類

分類	目標指標	目標指標の位置づけ
改善項目	BOD	発生源対策、汚濁負荷削減対策等により目標達成を図る項目
住民連携項目	透視度、水のおい、川底の感触、ごみの量、指標生物の生息	住民の意識向上や住民の主体的な行動を引き出す水質項目 発生源対策等を通じて流域住民と連携して目標達成を図る
監視項目	アンモニア性窒素、糞便性大腸菌群数、陰イオン界面活性剤、T-N、T-P	関連する水質基準等をふまえて当面望ましい目標値を設定し、監視に努める項目 目標達成に向けた具体策について調査研究を進める

4. 目標指標の状況

4.1 改善項目 (BOD)

(1) 本川

- ・平成 30 年度の BOD75%値は、大和川水環境改善計画で定めている目標水質に対し、5 地点中 3 地点で達成した（要監視の地点を除く）。また、環境基準は全 8 地点で達成した。
- ・経年的な変化をみると、本川 8 地点平均の BOD は、近年継続して環境基準レベルを維持しているが、奈良県域では目標値を上回る年度もみられる。このため引き続き発生源対策等に努めることが必要である。

本川 8 地点の目標水質の状況を表 4.1.1、地点別の BOD75%値達成状況（計画目標、環境基準）を図 4.1.1～図 4.1.2、本川 8 地点の調査箇所を図 4.1.3、本川 8 地点平均の BOD の経年変化を図 4.1.4 に示す。

表 4.1.1 本川の目標水質 (BOD) と年度 BOD75%値の状況

地点	環境基準点	環境基準		目標値	BOD75%値								
		類型	基準値		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
カミハンダバシ 上吐田橋	○	C	5	3.0	4.4	4.3	2.8	3.5	3.3	3.6	4.2	2.8	3.3
タイシバシ 太子橋	○	C	5	3.0	4.4	4.6	4.0	4.0	3.4	3.6	3.6	3.8	3.4
ミユキオオハシ 御幸大橋	○	C	5	3.0	3.5	3.5	3.9	3.2	3.0	3.4	2.8	3.1	2.7
フジイ 藤井	◎	C	5	3.0	3.5	3.5	3.9	3.2	2.9	2.9	3.1	3.4	2.4
クニトヨバシ 国豊橋	○	C	5	3.0	3.2	3.1	3.4	2.6	2.1	2.3	2.3	2.6	2.4
カワチバシ 河内橋	◎	C	5	—(要監視)	2.4	2.5	2.5	2.0	1.8	2.0	1.9	2.0	1.8
アサカシンシユスイコウ 浅香新取水口	◎	C	5	—(要監視)	2.1	2.0	2.0	1.7	1.6	2.1	2.3	1.8	2.0
オリオノバシ 遠里小野橋	◎	D	8	—(要監視)	2.6	2.4	2.2	2.0	1.7	2.2	2.1	2.0	1.8

○準基準点

赤字は環境基準値を超える

黄色の網掛けは目標値を超える

注：現計画において、計画策定時における現況水質が環境基準A、B類型相当の水質を達成していた地点については、目標値を設定せず要監視としている。

環境基準：A類型 2mg/L以下、B類型 3mg/L以下、C類型 5mg/L以下、D類型 8mg/L以下
上記の類型指定は平成29年1月27日現在。

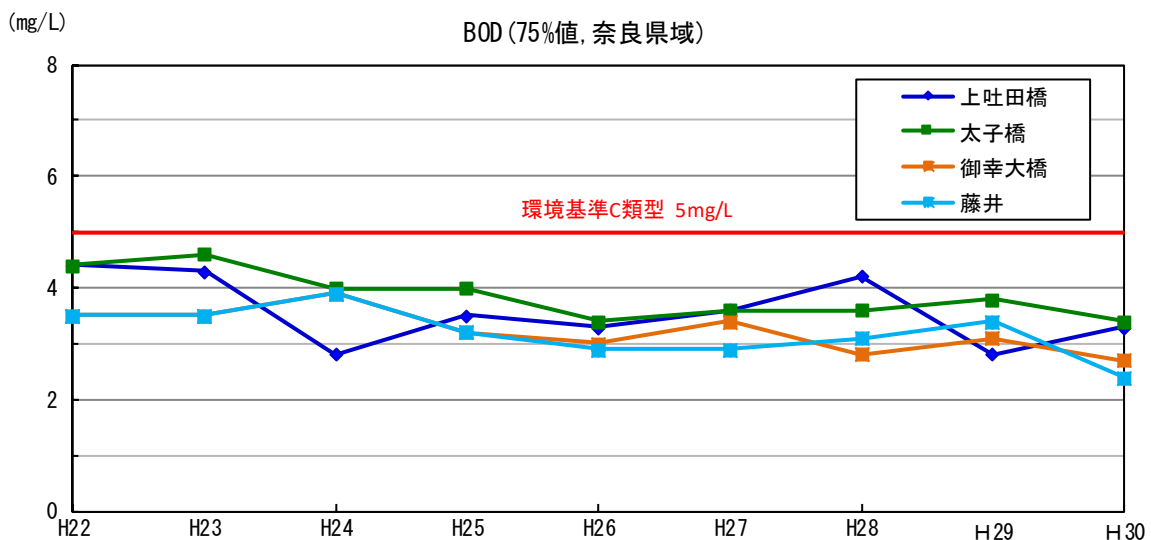


図 4.1.1 本川 (奈良県域) の地点別 年度 BOD75%値の推移 (H22～H30)

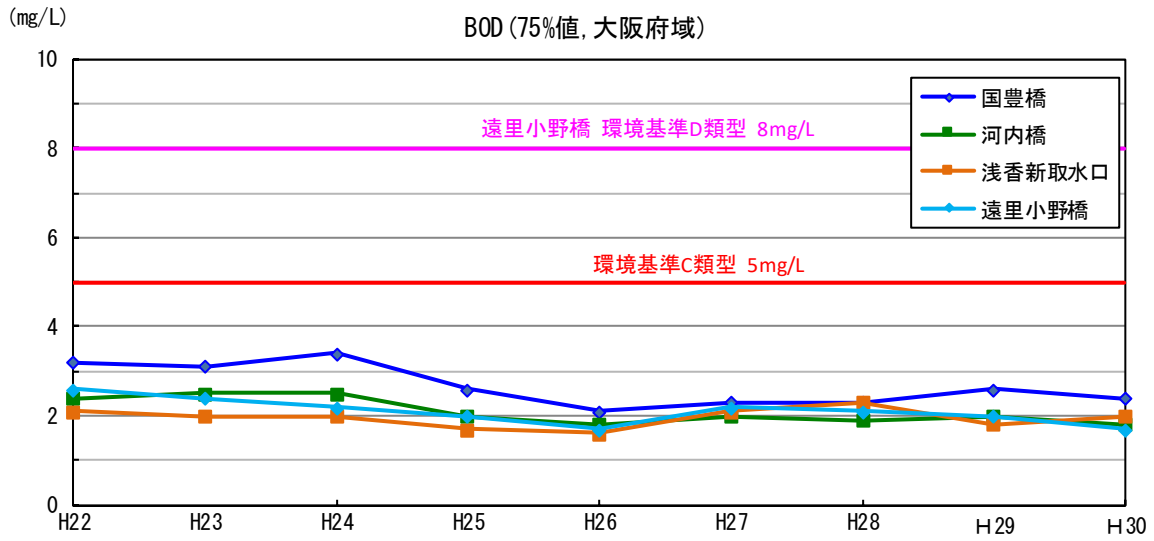


図 4.1.2 本川（大阪府域）地点別 年度 BOD75%値の推移（H22～H30）

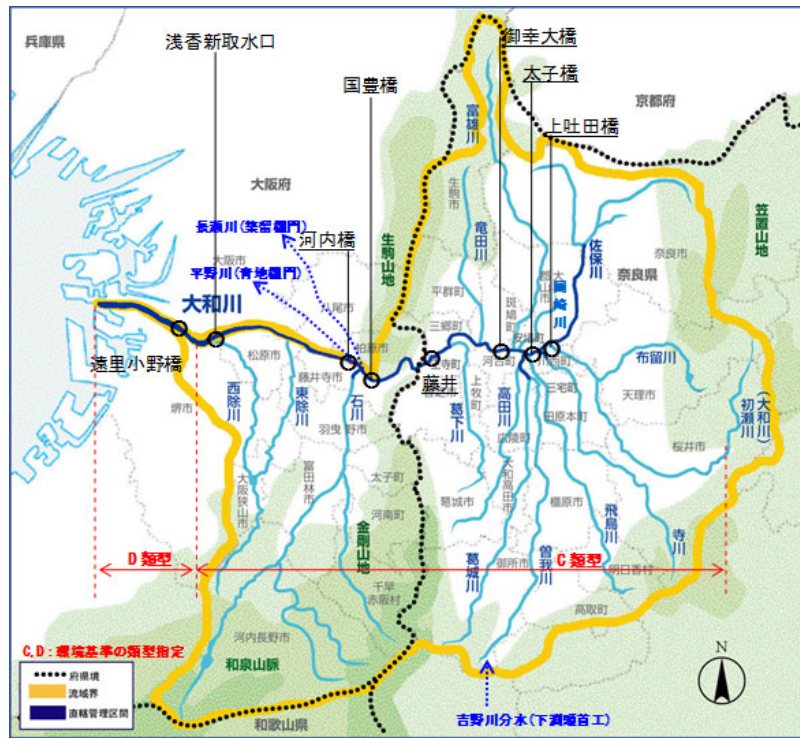


図 4.1.3 本川 8 地点の調査箇所

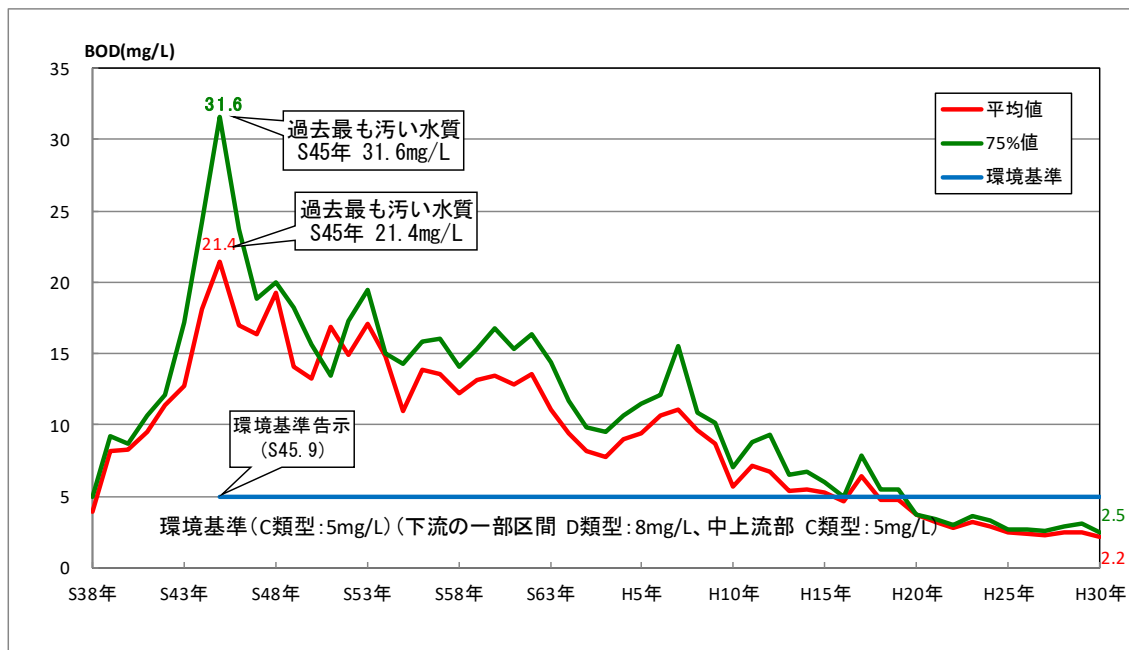


図 4.1.4 本川 8 地点平均 BOD の推移

※年単位で集計

(2) 支川(奈良県域)

- ・平成 30 年度の BOD75%値は、大和川水環境改善計画で定めている目標水質に対し、23 地点中 19 地点で達成した（要監視の地点を除く）。また、環境基準は 30 地点中 27 地点で達成した。
- ・環境基準を達成していない地点は、細井戸橋(高田川)、平群橋(竜田川)、新橋(葛下川)である。これらの地点は重点区域であることから、引き続き発生源対策等に努める必要がある。

奈良県域の支川・地点別の目標水質(BOD)の状況を表 4.1.2 に示す。

表 4.1.2 支川(奈良県域)の目標水質(BOD)と年度 BOD75%値の状況

河川	地点	環境基準点	環境基準		目標値	BOD75%値												
			類型	基準値		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30				
大和川	デグチバス 出口橋	○	C	5	—(要監視)	1.6	1.2	1.4	1.3	1.5	1.4	1.1	1.6	0.9				
布留川	フルカワリュウマツ 布留川流末	◎	C	5	—(要監視)	2.4	2.3	1.7	2.6	1.7	1.8	2.3	3.0	1.7				
佐保川	サンジョウタカハシ 三條高橋	◎	B	3	—(要監視)	0.8	1.0	0.9	0.9	1.0	1.1	1.0	0.9	0.9				
	グンカイバス 郡界橋	○	C	5	3.0	3.4	3.6	3.7	2.5	2.2	2.7	2.9	2.3	2.5				
	イツワバス 井筒橋	○	C	5	3.0	4.0	3.7	4.8	3.8	3.2	3.4	4.3	4.0	2.3				
	スカタバタカハシ 額田部高橋	◎	C	5	3.0	3.6	3.6	3.9	3.3	3.5	3.3	3.6	3.5	3.0				
菩提川	ホダイガワリュウマツ 菩提川流末	◎	C	5	5.0	7.8	4.7	6.9	3.4	2.5	4.7	3.1	3.7	3.5				
菰川	コモガワリュウマツ 菰川流末	—	—	—	5.0	6.2	6.6	4.4	4.4	3.9	4.9	4.2	4.6	3.5				
秋篠川	アキシノガワリュウマツ 秋篠川流末	◎	C	5	5.0	4.3	5.9	3.8	5.7	5.0	4.4	3.8	4.5	3.3				
寺川	コウジンバス 興仁橋	○	C	5	3.0	2.6	3.3	2.9	4.6	3.0	2.3	4.3	3.3	2.9				
	ハンダバス 吐田橋	◎	C	5	3.0	3.8	2.4	2.9	4.7	3.3	3.0	2.8	2.8	2.8				
飛鳥川	アマカシバス 甘橙橋	○	A	2	—(要監視)	1.2	1.2	1.1	1.3	1.0	1.0	1.0	1.2	0.8				
	シントウバス 神道橋	◎	A	2	—(要監視)	1.2	1.5	1.2	2.0	1.2	1.4	1.5	1.1	0.9				
	ホタバシ 保田橋	◎	C	5	3.0	2.9	2.7	3.0	3.8	3.0	3.1	3.0	2.9	2.1				
曾我川	ヒガシバス 東橋	○	C	5	3.0	3.2	2.6	2.4	3.2	2.1	2.2	2.2	1.9	1.5				
	ソガガワバス 曾我川橋	◎	C	5	3.0	3.4	7.0	3.4	4.0	2.6	3.6	3.1	2.6	1.5				
	コヤナギバス 小柳橋	◎	C	5	3.0	2.8	3.0	3.2	3.7	2.1	1.7	2.5	1.6	1.1				
	タモツバス 保橋	○	C	5	3.0	3.2	2.9	3.4	3.2	2.4	2.8	2.7	3.1	2.5				
葛城川	サクラバス 桜橋	○	C	5	—(要監視)	1.4	1.7	1.7	1.6	1.5	1.6	1.1	1.5	1.2				
	カレキバス 枯木橋	◎	C	5	5.0	7.3	4.7	8.5	6.2	5.2	5.8	5.6	5.4	3.5				
高田川	ホソイドバス 細井戸橋	○	C	5	5.0	11.0	4.6	5.5	6.4	7.6	5.1	7.5	6.6	5.7				
	サトアイバス 里合橋	◎	C	5	5.0	4.2	5.0	4.5	5.5	4.5	4.9	3.3	3.2	3.3				
岡崎川	ショウワオオバス 昭和大橋	○	C	5	3.0	4.2	4.0	2.9	5.0	5.6	3.9	2.2	7.8	4.3				
	オカザキガワリュウマツ 岡崎川流末	◎	C	5	5.0	12.0	7.0	5.7	9.8	7.5	9.1	8.1	7.8	4.8				
富雄川	シバ 芝	◎	B	3	—(要監視)	2.0	2.3	3.0	2.8	2.5	2.1	2.0	2.0	1.8				
	オオワダバス 大和田橋	○	C	5	—(要監視)	2.0	2.0	2.1	2.8	2.0	1.8	1.6	2.3	1.7				
	イトリバス 弋鳥橋	◎	C	5	5.0	4.6	5.0	3.9	5.2	4.1	4.0	4.2	3.7	3.6				
竜田川	ヘグリバス 平群橋	○	C	5	3.0	3.9	4.0	3.4	4.3	4.8	3.4	4.3	6.0	6.4				
	タツタオオバス 竜田大橋	◎	C	5	5.0	3.4	4.2	3.3	5.3	3.7	3.6	4.0	3.7	3.0				
葛下川	シンバス 新橋	○	C	5	5.0	5.6	12.0	4.8	5.7	5.6	3.3	5.8	7.6	5.4				
	バス だるま橋	◎	C	5	5.0	6.1	5.3	4.5	5.3	3.9	4.0	3.8	4.0	3.1				

○準基準点 赤字は環境基準値を超える 青字は重点区域

黄色の網掛けは目標値を超える

注：現計画において、計画策定時における現況水質が環境基準A、B類型相当の水質を達成していた地点については、目標値を設定せず要監視としている。

環境基準：A類型 2mg/L以下、B類型 3mg/L以下、C類型 5mg/L以下、D類型 8mg/L以下
上記の類型指定は平成22年3月9日現在。

1) 主要支川のBOD改善状況（佐保川、寺川、飛鳥川、曾我川）

主要支川（佐保川、寺川、飛鳥川、曾我川）の年度BOD75%値の推移を図4.1.5に、調査箇所
の位置図を図4.1.6に示す。

いずれの支川も近年継続して環境基準を達成している。

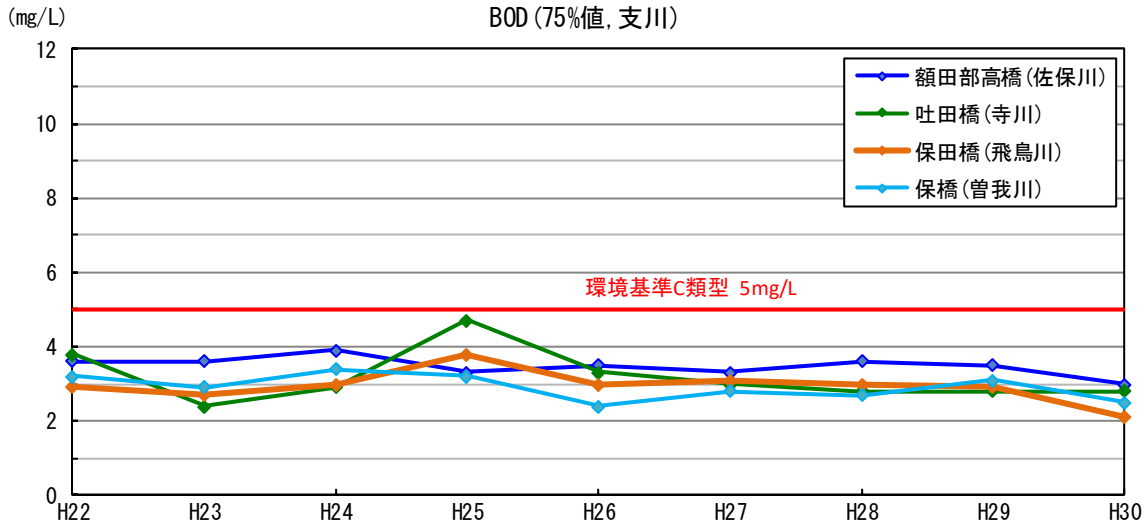


図 4.1.5 佐保川、寺川、飛鳥川、曾我川の年度BOD75%値の推移

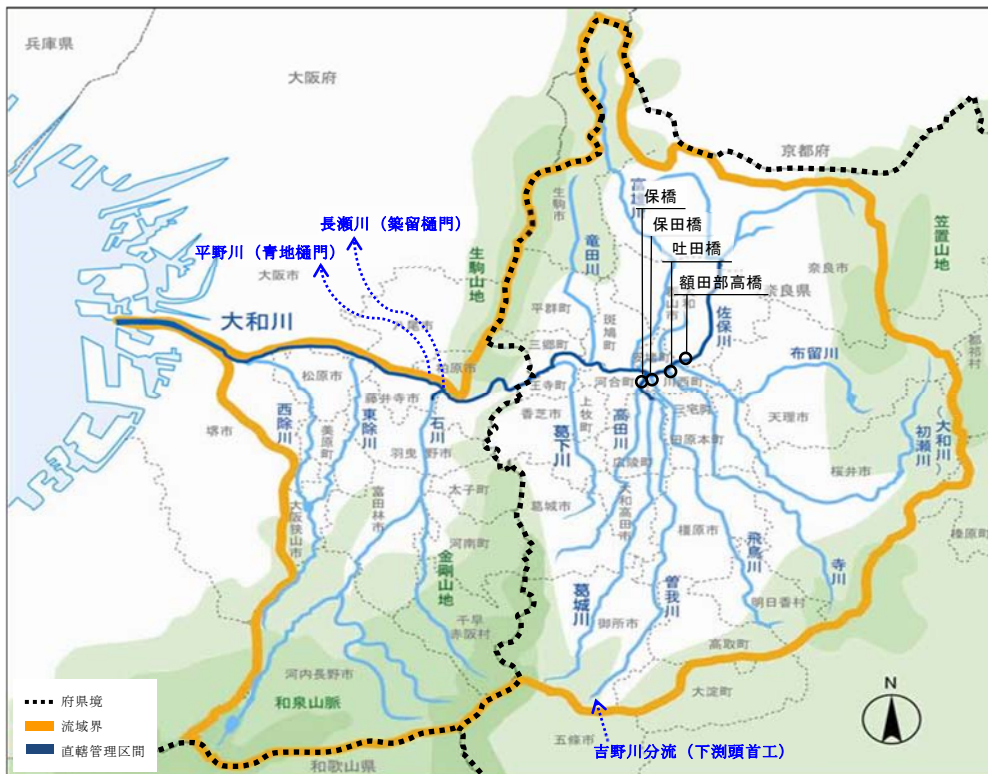


図 4.1.6 佐保川、寺川、飛鳥川、曾我川の調査箇所

2) 主要支川のBOD改善状況（岡崎川、富雄川、竜田川、葛下川）

主要支川（岡崎川、富雄川、竜田川、葛下川）の年度BOD75%値の推移を図4.1.7に、調査箇所的位置図を図4.1.8に示す。

平成26年度以降は岡崎川を除いて環境基準を達成している。平成30年度においては岡崎川も環境基準を達成しているが、変動が大きいことから今後も変動に注視が必要である。

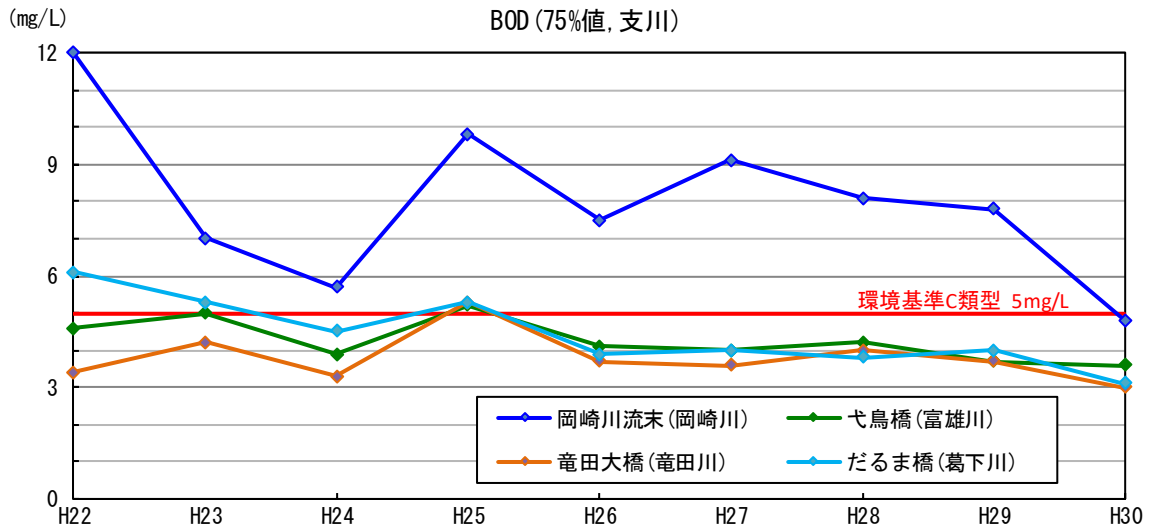


図 4.1.7 岡崎川、富雄川、竜田川、葛下川の年度BOD75%値の推移

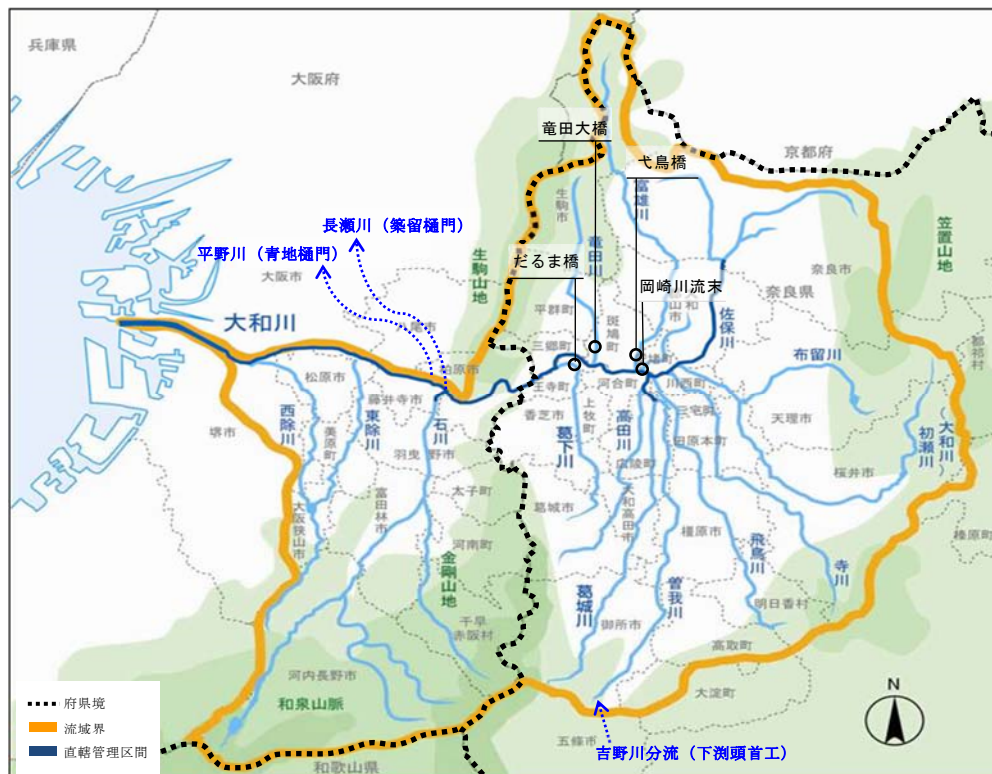


図 4.1.8 岡崎川、富雄川、竜田川、葛下川の調査箇所

(3) 支川(大阪府域)

- ・平成 30 年度の BOD75%値は、大和川水環境改善計画で定めている目標水質に対し、4 地点中 3 地点で達成した（要監視の地点を除く）。また、環境基準は 12 地点中 11 地点で達成した。
- ・環境基準を達成していない地点は、狭山池流出端(西除川)である。
- ・近年は概ね水質が安定しているが、一部で変動が大きな地点もみられるため注視が必要である。

大阪府域の支川・地点別の目標水質(BOD)の状況を表 4.1.3 に示す。

表 4.1.3 支川(大阪府域)の目標水質(BOD)と年度 BOD75%値の状況

河川	地点	環境基準点	環境基準		目標値	BOD75%値									
			類型	基準値		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
石見川	シンタカノバス 新高野橋	◎	AA	1	—(要監視)	0.7	0.5	0.6	0.7	0.7	0.8	0.8	0.9	0.8	
天見川	シンキタバス 新喜多橋	◎	A	2	—(要監視)	1.5	0.8	1.0	1.1	1.0	1.1	0.9	1.4	1.2	
石川	タカバス 高橋	◎	B	3	—(要監視)	2.1	1.1	1.0	1.6	1.1	1.6	1.5	1.8	1.6	
佐備川	オオトモバス 大伴橋	◎	B	3	—(要監視)	2.7	2.1	2.5	2.1	1.8	1.9	2.1	2.6	1.8	
千早川	イシカワゴウリュウチョクゼン 石川合流直前	◎	A	2	—(要監視)	0.9	0.8	1.0	1.3	0.6	1.1	0.8	1.1	1.3	
梅川	イシカワゴウリュウチョクゼン 石川合流直前	◎	A	2	—(要監視)	1.3	1.1	1.0	1.1	1.1	1.2	1.3	1.4	1.1	
飛鳥川	エンミョウバス 円明橋	◎	C	5	5.0	6.9	3.2	5.5	5.6	11.0	4.6	4.0	6.7	2.9	
石川	イシカワバス 石川橋	◎	B	3	—(要監視)	1.3	1.7	1.4	1.2	1.1	1.1	1.2	1.3	1.0	
東除川	メイジコバス 明治小橋	◎	C	5	3.0	5.3	4.7	4.1	4.2	3.0	2.9	4.0	3.8	3.5	
落堀川	ヒガシヨケガワゴウリュウチョクゼン 東除川合流直前	—	—	—	3.0	4.7	5.2	3.9	3.5	2.8	3.5	3.5	2.7	2.9	
西除川	サヤマイケゴウリュウチョクゼン 狭山池合流直前	○	B	3	—(要監視)	2.2	1.8	2.1	2.3	1.8	1.5	2.4	2.4	1.6	
	サヤマイケリュウシュツタン 狭山池流出端 ^注	◎	B	3	—(要監視)	3.1	2.8	2.0	3.0	3.5	3.6	3.6	4.0	3.4	
	ヤマトガワゴウリュウチョクゼン 大和川合流直前	◎	D	8	3.0	11.0	5.2	2.7	1.7	2.2	2.2	2.3	2.9	2.7	

○準基準点

赤字は環境基準値を超える

青字は重点区域

黄色の網掛けは目標値を超える

注：現計画において、計画策定時における現況水質が環境基準A、B類型相当の水質を達成していた地点については、目標値を設定せず要監視としている。

注：狭山池流出端は目標値を設定せず要監視(現状維持)としているが、H30は環境基準を超過している(「まずは全ての地点で環境基準の達成を目指す」という目標を満たしていない)ことから、目標値を超過した地点として扱う

環境基準：AA類型 1mg/L以下、A類型 2mg/L以下、B類型 3mg/L以下、C類型 5mg/L以下、D類型 8mg/L以下
上記の類型指定は平成29年1月27日現在。

1) 主要支川のBOD改善状況（石川、東除川、西除川）

主要支川（石川、東除川、西除川）の年度BOD75%値の推移を図4.1.9に、調査箇所的位置図を図4.1.10に示す。

いずれの支川も近年継続して環境基準を満たしている。

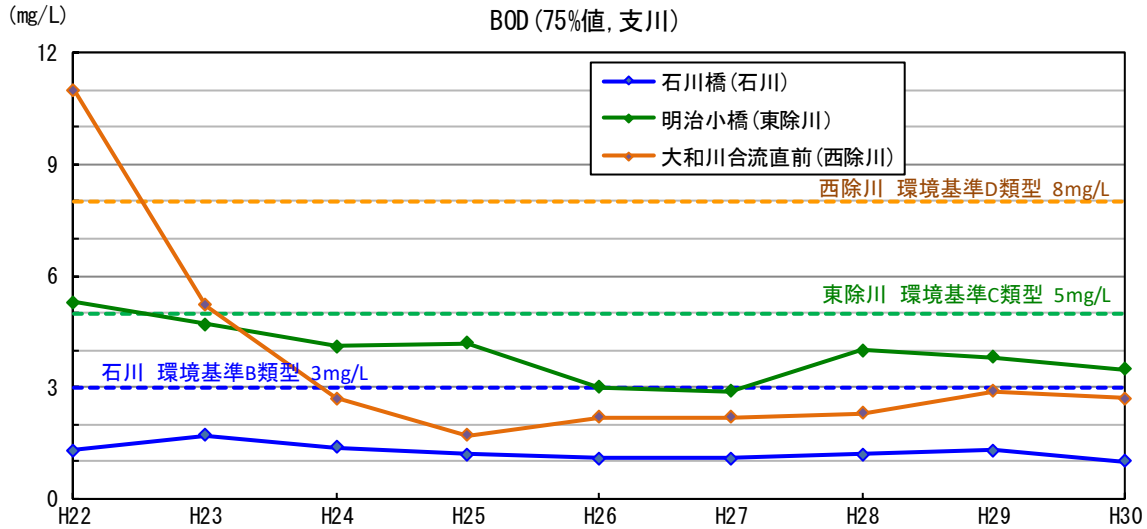


図 4.1.9 石川、東除川、西除川の年度BOD75%値の推移



図 4.1.10 石川、東除川、西除川の調査箇所

4.2 住民連携項目

(1) 感覚評価指標

- ・平成30年度は大和川水環境改善計画で定めている目標レベルの達成度が9割程度(7/8)である。
- ・目標レベルの達成状況は、4指標のうち河内橋が3指標、浅香新取水口が4指標で目標レベルを達成した。
- ・指標別には、ごみの量、透視度、川底の感触は2地点で目標レベルを達成したが、水においては1地点達成に至らなかった。
- ・水においては、継続的な改善効果が確認されるよう引き続き発生源対策等に努めることが必要である。

地点別の感覚評価指標による水質評価ランクの推移を表4.2.1に、感覚評価指標の評価ランクを表4.2.2に示す。

表 4.2.1 感覚評価指標による水質評価ランクの推移





評価指標	地点	計画目標レベル	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	現計画期間			目標レベルの達成状況(H30年度)
								H28年度	H29年度	H30年度	
ごみの量	御幸大橋	B	B	D	-	C	B	C	B	-	-
	藤井	B	B	B	C	C	B	B	B	-	-
	河内橋	B	C	D	B	B	B	B	B	B	○
	浅香新取水口	B	B	C	B	C	A	B	B	B	○
透視度	御幸大橋	B	A	A	-	A	A	A	A	-	-
	藤井	B	A	A	B	A	A	B	A	-	-
	河内橋	B	A	A	A	A	A	B	A	B	○
	浅香新取水口	B	A	A	C	A	B	B	A	B	○
川底の感触	御幸大橋	B	B	B	-	B	B	B	B	-	-
	藤井	B	B	B	B	B	A	B	B	-	-
	河内橋	B	B	B	B	B	A	B	B	B	○
	浅香新取水口	B	B	B	B	B	B	B	B	B	○
水のおい	御幸大橋	B	C	D	-	C	A	C	A	-	-
	藤井	B	A	A	C	C	A	A	C	-	-
	河内橋	B	C	D	A	A	A	A	A	C	×
	浅香新取水口	B	A	C	D	C	A	C	C	A	○
達成率	ごみの量		3/4	1/4	2/3	1/4	4/4	3/4	4/4	2/2	
	透視度		4/4	4/4	2/3	4/4	4/4	4/4	4/4	2/2	
	川底の感触		4/4	4/4	3/3	4/4	4/4	4/4	4/4	2/2	
	水のおい		2/4	1/4	1/3	1/4	4/4	2/4	2/4	1/2	
	合計		13/16	10/16	8/12	10/16	16/16	13/16	14/16	7/8	

注1) ■は計画目標を未達成。

注2) 御幸大橋H25は悪天候のため実施していない

注3) 御幸大橋、藤井H30は悪天候のため実施していない

表 4.2.2 感覚評価指標の評価ランク

ランク	説明	ランクのイメージ	評価指標と評価レベル			
			ごみの量	透視度(cm)	川底の感触	水のおい
A	顔を川の水につけやすい		川の中や水際にゴミは見あたらないまたは、ゴミはあるが全く気にならない	100以上	快適である	不快でない
B	川の中に入って遊びやすい		川の中や水際にゴミは目につくが、我慢できる	70以上	不快感がない	
C	川の中に入れないが、川に近づくことができる		川の中や水際にゴミがあって不快である	30以上	不快である	水に鼻を近づけると不快な臭いを感じる
D	川の水に魅力がなく、川に近づきにくい		川の中や水際にゴミがあっても不快である	30未満		水に鼻を近づけるととても不快な臭いを感じる

出典) 国土交通省河川局河川環境課「今後の河川水質管理の指標について(案)【改訂版】(平成21年3月)」より抜粋

(2) 指標生物

- ・平成 30 年度は、大和川水環境改善計画で定めている目標レベルに対し、2 地点中 2 地点で達成した。
- ・引き続き目標が達成できるよう支川を含め水質改善と水生生物に影響する物質(界面活性剤等)の削減等に努めることが必要である。

地点別の指標生物による水質評価ランクの推移を表 4.2.3 に、指標生物と水質評価ランク区分を表 4.2.4 に示す。

表 4.2.3 指標生物による水質評価ランクの推移

河川名	基準地点	現計画目標	実績								目標レベルの達成状況(H30年度)
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
大和川	御幸大橋	B	C	C	—	C	C	B	C	—	—
	藤井	B	B	B	B	B	C	C	C	—	—
	河内橋	B	B	B	B	A	B	C	B	B	○
	浅香	B	B	B	B	D	B	B	B	B	○
達成率			3/4	3/4	3/3	2/4	2/4	2/4	2/4	2/2	

※■は計画目標を未達成。
 ※御幸大橋H25は悪天候のため未実施
 ※御幸大橋、藤井H30は悪天候のため未実施
 ※指標生物が見つからない場合は、知見者の判定により、一番良い判定を採用。

表 4.2.4 指標生物と水質評価ランク区分

ランク	説明	指標生物
A きれいな水	生物の生息・生育・繁殖環境として非常に良好	カワゲラ ナガレトビケラ 等
B ややきれいな水	生物の生息・生育・繁殖環境として良好	コガタシマトビケラ オオシマトビケラ 等
C きたない水	生物の生息・生育・繁殖環境として良好とは言えない	ミズムシ ミズカマキリ 等
D とともきたない水	生物が生息・生育・繁殖しにくい	セスジユスリカ チョウバエ 等

出典)国土交通省河川局河川環境課「今後の河川水質管理の指標について(案)【改訂版】(平成21年3月)」

5. 監視項目の状況

5.1 アンモニア性窒素

- ・平成 30 年度は、大和川水環境改善計画で定めている目標（望ましい目標値に対する年度最大値）を、本川は 8 地点中 6 地点、支川は 15 地点中 11 地点で達成した。
- ・目標値に満たない地点においては、今後の測定結果に注視するとともに、下水道及び合併処理浄化槽の整備等事業の推進や発生源対策等に努めることが必要である。

アンモニア性窒素の望ましい目標の設定河川等を表 5.1.1 に、地点別のアンモニア性窒素の状況を図 5.1.1、表 5.1.2 に示す。

表 5.1.1 アンモニア性窒素の望ましい目標の設定河川等

望ましい目標		大阪府域	奈良県域
Bランク以上 (0.5mg/L 以下)	大和川 本川	国豊橋 91、河内橋 92、 浅香新取水口 93、遠里小野橋 94	上吐田橋 3、太子橋 4、御幸大橋 5、藤井 6
	支川	石川：石川橋 84、高橋 83 東除川：明治小橋 95 西除川：大和川合流直前 100	佐保川：群界橋 12、井筒橋 13、額田部高橋 14 寺川：吐田橋 25、飛鳥川：保田橋 30 曾我川：小柳橋 33、保橋 34 岡崎川：岡崎川流末 43、富雄川：弋鳥橋 46 竜田川：竜田大橋 49、葛下川：だるま橋 51

注) 数字は「大阪府公共用水域の水質測定計画」及び「奈良県公共用水域の水質測定計画」の地点番号



(数字は「大阪府公共用水域の水質測定計画」及び「奈良県公共用水域の水質測定計画」の地点番号)

図 5.1.1 アンモニア性窒素の状況(平成 30 年度の最大値)

表 5.1.2 アンモニア性窒素の状況

現計画期間 →

表 アンモニア性窒素の望ましい目標の達成状況

区分	河川名	基準地点	望ましい 目標値 (mg/L)	実績 (年度最大値・mg/L)							
				H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
奈良 県域	大和川 本川	上吐田橋	0.5	0.06	0.18	0.13	0.05	0.07	0.14	0.05	0.05
		太子橋	0.5	0.23	0.23	0.25	0.15	0.33	0.35	0.78	0.54
		御幸大橋	0.5	0.57	0.35	0.30	0.26	0.25	0.24	0.53	0.32
		藤井	0.5	0.67	0.45	0.42	0.36	0.42	0.39	0.66	0.60
	佐保川	郡界橋	0.5	0.78	0.36	0.48	0.35	0.21	0.32	0.55	0.36
		井筒橋	0.5	0.59	0.53	0.41	0.22	0.24	0.21	0.51	0.27
		額田部高橋	0.5	0.42	0.48	0.23	0.24	0.22	0.20	0.25	0.24
	寺川	吐田橋	0.5	0.10	0.20	0.11	0.26	0.05	0.21	0.08	0.07
	飛鳥川	保田橋	0.5	0.38	0.55	0.48	0.47	0.09	0.22	0.37	0.37
	曾我川	小柳橋	0.5	0.71	0.33	0.38	0.36	0.26	0.22	0.36	0.33
		保橋	0.5	0.62	0.55	0.39	0.41	0.23	0.23	0.35	0.30
	岡崎川	岡崎川流末	0.5	3.00	0.65	3.10	0.50	1.80	0.80	0.91	0.46
	富雄川	弋鳥橋	0.5	0.27	0.51	0.61	0.80	0.44	0.21	0.38	0.19
	竜田川	竜田大橋	0.5	1.50	1.10	0.29	1.20	0.66	0.67	1.00	0.97
葛下川	だるま橋	0.5	2.50	1.50	1.60	1.20	0.71	0.52	0.98	1.90	
大阪 府域	大和川 本川	国豊橋	0.5	0.67	0.53	0.38	0.32	0.23	0.24	0.52	0.42
		河内橋	0.5	0.49	0.36	0.24	0.27	0.19	0.19	0.38	0.33
		浅香新取水口	0.5	0.36	0.35	0.21	0.18	0.13	0.14	0.27	0.20
		遠里小野橋	0.5	0.42	0.30	0.24	0.19	0.15	0.15	0.26	0.20
	石川	石川橋	0.5	0.14	0.09	0.12	0.13	0.09	0.09	0.11	0.09
		高橋	0.5	0.07	0.17	0.04	0.35	0.07	0.07	0.40	0.29
	東除川	明治小橋	0.5	1.00	1.20	1.20	0.61	0.71	0.80	0.70	0.51
	西除川	大和川合流直前	0.5	5.50	0.31	0.17	0.67	0.09	0.07	0.70	1.50
		達成率	本川	5/8	7/8	8/8	8/8	8/8	8/8	4/8	6/8
			支川	6/15	7/15	11/15	10/15	11/15	11/15	8/15	11/15

■は計画目標を未達成。
 目標ランクの達成状況は参考値がある地点で評価
 国、府県の調査地点を含むため年度で整理。

5.2 糞便性大腸菌群

- ・平成 30 年度は、大和川水環境改善計画で定めている目標（望ましい目標値に対する 7～8 月平均値）を、9 地点中 5 地点で達成した。
- ・糞便性大腸菌群の排出源としてヒト由来、畜産由来等が考えられることから、低減に向け、下水道及び合併処理浄化槽の整備を着実に推進するとともに、下水道への接続、浄化槽の適正管理の啓発、畜産事業者への啓発・指導等が必要となる。

糞便性大腸菌群の望ましい目標の設定河川等を表 5.2.1 に、地点別の糞便性大腸菌群の状況を図 5.2.1、表 5.2.2 に示す。

表 5.2.1 糞便性大腸菌群の望ましい目標の設定河川等

望ましい目標		大阪府域	奈良県域
1,000 個 /100mL 以下	大和川本川	国豊橋 91、河内橋 92、 浅香新取水口 93、遠里小野橋 94	上吐田橋 3、太子橋 4、御幸大橋 5、藤井 6
	支川	石川：石川橋 84	

注) 番号は「大阪府公共用水域の水質測定計画」及び「奈良県公共用水域の水質測定計画」の地点番号



(数字は「大阪府公共用水域の水質測定計画」及び「奈良県公共用水域の水質測定計画」の地点番号)

図 5.2.1 糞便性大腸菌群の状況(平成 30 年 7～8 月平均値)

表 5.2.2 糞便性大腸菌群の状況

現計画期間

河川	基準地点	望ましい 目標値 (個/100mL)	実績水質 (7-8月平均値, 個/100mL)							
			H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
大和川	上吐田橋	1,000	2,430	165	81	376	570	86	140	45
	太子橋	1,000	10,100	1,750	131	5,850	6,800	9,500	1,450	3,350
	御幸大橋	1,000	76,550	1,030	34	2,550	3,350	2,640	1,500	1,900
	藤井	1,000	6,300	560	64	1,730	2,800	3,100	1,400	485
	国豊橋	1,000	34,500	1,750	570	2,600	3,800	3,270	1,400	1,150
	河内橋	1,000	24,000	1,040	105	1,680	1,530	2,060	790	755
	浅香新取水口	1,000	1,510	109	17	860	620	595	940	160
	遠里小野橋	1,000	3,350	800	107	2,900	3,700	4,700	2,950	1,860
石川	石川橋	1,000	8,300	610	39	960	1,660	930	625	730
		達成率	0/9	5/9	9/9	3/9	1/9	3/9	4/9	5/9

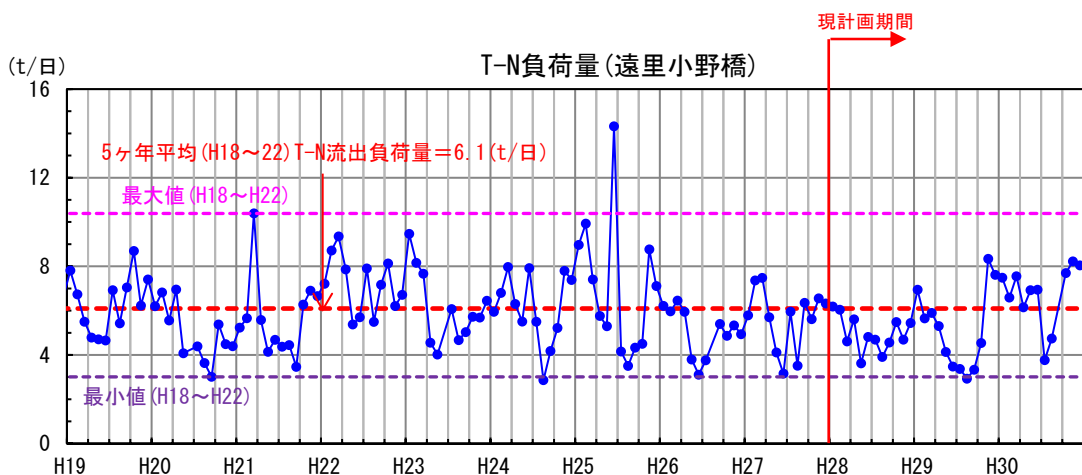
注) ■は計画目標を未達成。

注) 上吐田橋H29は7月単月の結果

5.3 T-N(全窒素)、T-P(全リン)

- 平成 30 年度の T-N、T-P の流出負荷量は、大和川水環境改善計画で定めている目標である、過去 5 カ年(平成 18~22 年)流出負荷量の変動の範囲内である。

遠里小野橋の定期水質調査時の T-N 流出負荷量、T-P 流出負荷量の推移をそれぞれ図 5.3.1、図 5.3.2 に示す。

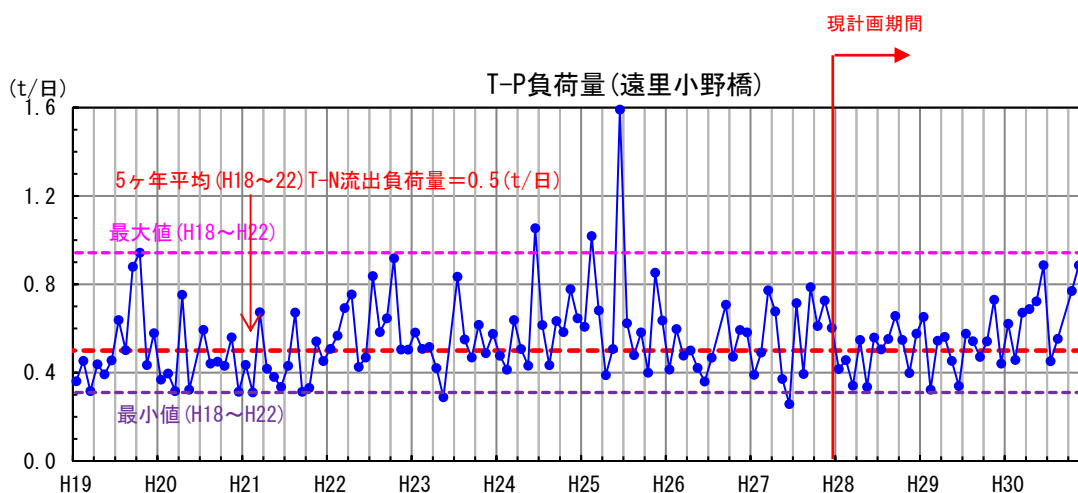


※H18-22 の過去 5 カ年平均は、年単位で集計

※H23.6、H26.8 は流量欠測

※H25.6 に H18-22 の最大値を大きく超えているが、当該月の降雨量が多かったことから、流量が増大し流出負荷量が増加したと考えられる

図 5.3.1 大和川本川の T-N 流出負荷量(定期水質調査時)の推移



※H18-22 の過去 5 カ年平均は、年単位で集計

※H23.6、H26.8 は流量欠測

※H25.6 に H18-22 の最大値を大きく超えているが、当該月の降雨量が多かったことから、流量が増大し流出負荷量が増加したと考えられる

図 5.3.2 大和川本川の T-P 流出負荷量(定期水質調査時)の推移

5.4 陰イオン界面活性剤

- ・平成 30 年度の陰イオン界面活性剤は、全地点平均で 0.028mg/L であった。
- ・平成 23～平成 27 年度平均と比較すると平成 28 年度は、全地点平均で 17%の低減がみられたが、平成 29 年度は全地点で平均 17%増加していた。平成 30 年度は全地点平均で 43%の低減となった。
- ・生き物にやさしい大和川に向け今後も引き続き陰イオン界面活性剤の測定結果に注視し、継続した低減に向け、下水道及び合併処理浄化槽の着実な整備、下水道への接続、浄化槽の適正管理の啓発、家庭用洗剤を含む生活雑排水負荷低減の啓発等に努めることが必要である。

地点別の陰イオン界面活性剤の状況をそれぞれ表 5.4.1、図 5.4.1 に示す。

表 5.4.1 陰イオン界面活性剤の状況 (1～2月平均)

区分	河川	地点	年度 実績 (1-2月平均(mg/L))				
			H23-27平均 (参考)	H28	H29	H30	
奈良 県域	大和川	上吐田橋	0.030	0.040	0.030	< 0.010	1月は欠測
		太子橋	0.048	0.050	0.060	0.040	
		御幸大橋	0.048	0.050	0.050	0.030	
		藤井	0.055	0.035	0.060	0.035	
	佐保川	郡界橋	0.068	0.080	0.120	0.040	
		井筒橋	0.076	0.060	0.070	0.030	
		額田部高橋	0.055	0.030	0.070	0.035	
	曾我川	小柳橋	0.046	0.030	0.045	0.020	
保橋		0.050	0.050	0.060	0.030		
大阪 府域	大和川	国豊橋	0.048	0.040	0.060	0.030	2月は欠測
		河内橋	0.041	0.030	0.050	0.025	
		浅香新取水口	0.040	0.020	0.040	0.025	
		遠里小野橋	0.041	0.030	0.045	0.025	
	石川	石川橋	0.030	0.015	0.020	< 0.010	
全地点平均			0.048	0.040	0.056	0.028	
H23-27平均からの増減率			—	-17%	+17%	-43%	

※定量下限値：0.010(mg/L)

陰イオン界面活性剤(1～2月平均)

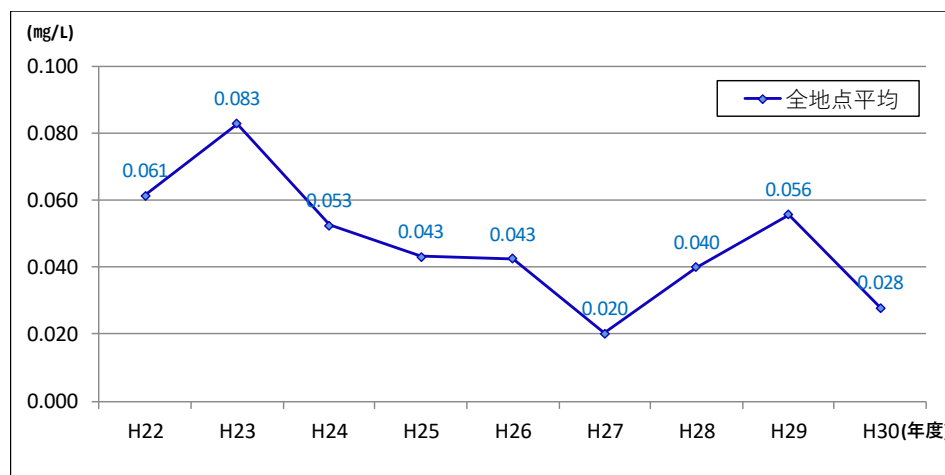


図 5.4.1 陰イオン界面活性剤の経年変化 (全地点平均)

6. 施策の実施状況

6.1 施策の概要

本計画の施策と役割分担を表 6.1.1 に示す。

表 6.1.1 計画施策と役割分担

	住民	民間事業者	市町村	府県	国 (大和川 河川事務所)
○:実施主体 □:協力主体					
(1)発生源対策					
1)生活排水対策の推進					
◇情報発信			○	○	○
◇流域住民参加活動の実施	□	□	○	○	○
◇流域連携の促進	□	□	○	○	○
2)環境学習・体験学習の推進					
◇市民による水環境改善活動の支援	□			○	○
◇学校における環境学習・体験学習の支援			○	○	○
◇企業による水環境改善活動の支援		○		○	
◇水辺体験の実施	□		○	○	
3)ごみ対策の推進					
◇ごみの不法投棄防止の啓発活動			○	○	○
◇清掃活動の実施	○	□	○	○	○
◇市民団体による清掃活動の支援	○	○	○	○	○
◇企業による清掃活動の支援	○	○		○	
4)事業所排水対策の推進					
◇工場・事業所に対する排水規制・指導		□		○	
◇その他施設からの排出負荷量の削減		□		○	
5)水質事故対策の推進					
◇水質事故防止に関する啓発		□		○	
◇水質事故発生時の被害防止対策		□	○	○	○
(2)汚濁負荷削減対策					
1)下水道事業の推進					
◇下水道の整備			○	○	
◇高度処理の推進				○	
◇合流式下水道の改善			○		
◇下水道接続の推進	□	□	○	○	
2)浄化槽事業及び関連事業の推進					
◇下水道計画区域外の生活排水適正処理の啓発	□	□	○	○	
◇浄化槽の適正管理の指導	□	□	○	○	
3)河川浄化施設の運用					
◇既存浄化施設の適正な維持管理				○	○
(3)河川の本来機能の再生対策					
1)多種多様な動植物が生息・生育できるような水環境の保全・再生創出					
◇生物の多様性の確保・創出				○	○
◇生息域の連続性の確保					○
2)安全で快適な親水空間の提供					
◇親水空間の確保	□			○	○
3)周辺環境と調和した河川景観の創出					
◇風土にふさわしい景観整備	□			○	
4)水量感のある豊かな水環境の確保					
◇下水高度処理水等の有効活利用				○	
◇健全な水循環の推進				○	
(4)重点区域における対策					
◇情報発信の強化			○	○	○
◇住民参加活動の強化	□		○	○	○
◇流域連携の強化	□		○	○	○
(5)水質監視・調査研究					
1)水質監視					
◇水質測定計画のとりまとめ				○	○
◇水質監視				○	○
◇大和川水環境白書の作成				○	○
◇合同パトロールの実施				○	
2)調査研究					
◇水環境アドバイザーと連携した水質汚濁機構の 解明等、調査研究の推進				○	○

6.2 取り組みの例

以下では、上述の計画施策に対し、平成30年度に実施された具体的な施策の事例を紹介する。

(1) 大和川水質改善強化月間（発生源対策：生活排水対策の推進）

大和川の水を少しでもきれいにすることを目的に、平成22年度から、毎年2月を「大和川水質改善強化月間」とし、大和川の水の汚れの主要因である家庭で使った水(生活排水)の汚れを減らす取り組みの実施を流域全体の各家庭へ呼びかけており、平成30年度も同様に実施した。

平成30年度は、従来の広報手段に加え、チラシ広告アプリ Shufoo(シューフー)を使用してチラシを2回発信した。

表 6.2.1 平成30年度 強化月間における取り組み概要

項目	内容
実施期間	広報実施期間：平成30年12月～平成31年2月 強化月間実施期間：平成31年2月1日(金)～2月28日(木)
実施内容	水質改善強化月間の啓発・広報、水質改善効果の把握(アンケート調査、水質調査)
広報手段	チラシ・ポスター、広報誌、各機関のホームページへ、バナー広告、記者発表、回覧板(チラシの回覧)、各種イベント等の連携、車両シール・のぼり旗、学校へのチラシ配布、協賛企業・協賛団体の募集・協力要請、フェイスブック、ならりびんぐクーポンへの掲載、Shufoo(シューフー)
参加状況	参加率：5.9%(WEBアンケート結果より)
水質調査	調査時期：1月(月間前)、2月(月間中) 地点数：全11地点 調査項目：BOD、陰イオン界面活性剤、塩化物イオン

※太字：平成30年度から新たに行った項目

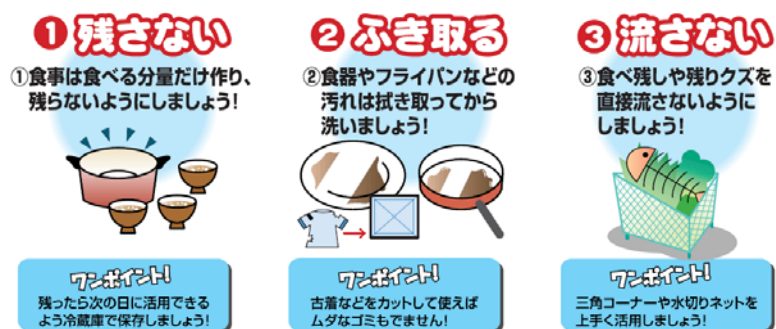


図 6.2.1 生活排水の汚れを減らす取り組み





図 6.2.3 フェイスブック記事



発行部数：204,320部

北和版 105,835部：奈良市、大和郡山市、
天理市、生駒市

南和版 98,485部：大和高田市、大和郡山市、
橿原市、桜井市、五條市、
御所市、香芝市、葛城市、
生駒郡、磯城郡、高市郡、
北葛城郡

発行日：平成31年1月25日（金）

配布形態：朝日・読売・毎日・産経の各紙より折り
込み配布、スーパー店舗等に設置

図 6.2.4 ならリビングクーポン

大和川水質改善強化月間への参加率と呼びかけ団体の推移を図 6.2.5 に、強化月間における水質調査結果を表 6.2.2 に示す。

強化月間前・期間中の水質調査結果から、平成 30 年度は、BOD が全 11 地点の内 3 地点、陰イオン界面活性剤が全 11 地点の内 1 地点、塩化物イオンが全 11 地点の内 8 地点という改善結果が見られた。

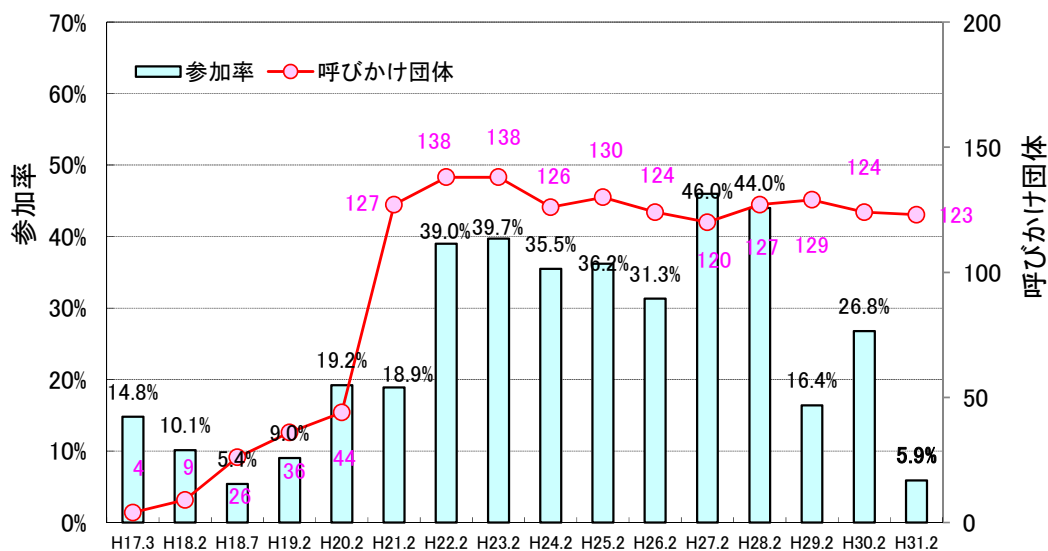


図 6.2.5 参加率と呼びかけ団体の推移

表 6.2.2 強化月間における水質調査結果（平成 30 年度）

調査主体・地点		BOD			陰イオン界面活性剤			塩化物イオン		
		1月 (月間前)	2月 (月間中)	低減率	1月 (月間前)	2月 (月間中)	低減率	1月 (月間前)	2月 (月間中)	低減率
国土交通省	遠里小野橋	1.8	2.8	-55.5%	0.020	0.030	-50.0%	48	48	0.6%
	浅香新取水口	1.6	2.1	-31.3%	0.020	0.030	-50.0%	46	47	-2.2%
	河内橋	2.2	2.0	9.1%	0.020	0.030	-50.0%	36	35	2.2%
	石川橋(石川)	0.6	0.6	0.0%	0.010	0.010	0.0%	25	23	7.3%
	藤井	3.7	4.1	-10.8%	0.030	0.040	-33.3%	41	39	4.1%
	御幸大橋	5.4	2.6	51.9%	-	0.030	-	35	41	-17.1%
	保橋(曾我川)	-	3.1	-	-	0.030	-	-	47	-
	太子橋	3.2	4.0	-31.3%	-	0.040	-	45	39	12.8%
	額田部高橋(佐保川)	2.3	2.7	-17.4%	0.040	0.030	25.0%	23	23	0.4%
	上吐田橋	1.6	3.0	-87.5%	-	0.010	-	13	10	17.5%
奈良県	三代川流末	28.0	6.6	76.4%	0.300	0.700	-133.3%	58	22	62.1%

—: 未測定 ■: 改善効果あり

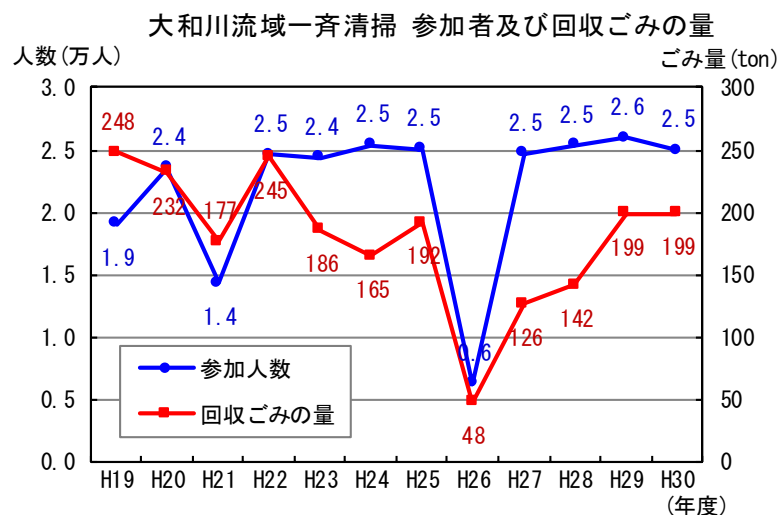
(2) 大和川一斉清掃（発生源対策：ごみ対策の推進）

大和川の美化・愛護意識を高めきれいな川を取り戻すため、国や府県、流域市町村、関係団体に連携し、大和川の流域が一体となった美化活動として、毎年3月に「大和川一斉清掃（大阪府における名称は大和川・石川クリーン作戦）」を実施しており、平成30年度も同様に実施した。

表 6.2.3 平成30年度 大和川一斉清掃の概要

項目	内容
開催日	平成31年3月3日(日)
メイン会場	大阪府：大和川左岸河川敷（堺市堺区香ヶ丘） 奈良県：寺川河川敷（田原本町役場前）
参加人数	合計 24,564 人（奈良県：8,452 人、大阪府：16,112 人）
回収ごみの量	合計 199t（奈良県：22t、大阪府：177t）

※参加人数、回収ごみの量については、府県HPにて公表されている値を使用



※H21、H26 は雨天による中止会場あり

図 6.2.6 一斉清掃参加者数・回収ごみの量の経年変化（平成19～30年度）

【開会式の様子（左：田原本町メイン会場、右：堺市メイン会場）】



【清掃活動の様子】



写真の出典

田原本町メイン会場(写真左上・下) : 奈良県 HP <http://www.pref.nara.jp/dd.aspx?menuid=49542>

堺市メイン会場(写真右上・下) : 大阪府 HP <http://www.pref.osaka.lg.jp/kasenkankyo/kyoudou/yamaishi.html>

(3) 「大和川クリーンデー」の清掃活動（発生源対策：ごみ対策の推進）

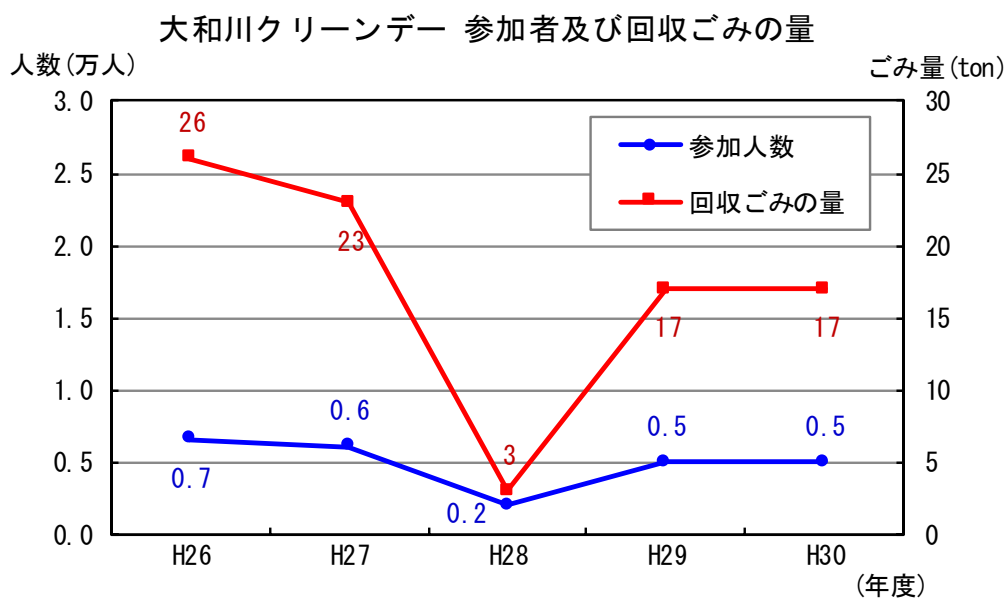
大和川河川事務所では、毎年7月の河川愛護月間の一環として、第2土曜日を「大和川クリーンデー」とし、河川公園を占有している自治体や、大和川水環境協議会の構成自治体に呼びかけ、「大和川クリーンデー」を中心に流域全体で一斉清掃を行っている。

表 6.2.4 平成30年度 大和川クリーンデーの概要

項目	内容		
開催日	平成30年7月14日(土)	平成30年7月15日(日)	平成30年7月16日(月・祝)
実施市町村 ・河川名	・八尾市 (大和川右岸) ・柏原市 (大和川左岸、石川右岸) ・王寺町 (大和川左岸、葛下川兩岸) ・上牧町 (滝川兩岸)	・大阪市平野区 (大和川左岸)	★奈良市 (佐保川兩岸、菰川兩岸、 菩提川兩岸) ★大和高田市 (高田川兩岸) ★大和郡山市 (富雄川右岸)
参加人数	約6,500人		
回収ごみの量	約18t		

※ 平成30年度は7月14日が「大和川クリーンデー」

※ ★印は「奈良県山の日・川の日」関連行事です。



※H28年度は一部会場が悪天候のため中止

図 6.2.7 大和川クリーンデー参加者数・回収ごみの量の経年変化（平成26～30年度）



王寺町会場



大阪市会場



八尾市会場



柏原市会場

(4) やまとがわ水生生物観察会（発生源対策：環境学習・体験学習の推進）

水生生物調査を通じて、大和川の水質の現状を知ってもらい、水質改善の必要性を啓発することを目的に開催している。また、生物調査の結果は感覚評価指標、指標生物で使用している。

■取組結果等

一般社団法人 淡水生物研究所の講師等を招き、奈良県域（中止）、大阪府域 5 回の計 5 回（参加者計 336 名）で開催した。この取り組みは、楽しみながら川に親しめることから、子どもへの水環境教育の導入プログラムとして効果が高いと考えられる。

- ・平成 30 年 6 月 27 日：大阪府大阪市平野区（瓜破大橋）
参加者：大阪市立瓜破西小学校 50 名
- ・平成 30 年 10 月 12 日：大阪府堺市堺区浅香山町（浅香）
参加者：大阪府立大阪南視覚支援学校 6 名
- ・平成 30 年 10 月 16 日：大阪府柏原市大正（河内橋）
参加者：富田林市立川西小学校 55 名
- ・平成 30 年 10 月 17 日：大阪府柏原市大正（河内橋）
参加者：八尾市立大正小学校 97 名
- ・平成 30 年 10 月 22 日：大阪府堺市堺区浅香山町（浅香）
参加者：堺市立浅香山小学校 128 名

※雨天中止 大阪 3 回、奈良 2 回



(5) 大和川博士講座（発生源対策：環境学習・体験学習の推進）

大和川流域住民への水環境改善意識の啓発を目的に、流域市町村で実施されるイベント等とタイアップして実施している。

■取組結果等

平成30年度は、奈良県域6回、大阪府域2回の計8回開催し、「大和川博士」が生活排水対策や水防への取り組みについて、紙芝居などを使いわかりやすい説明に努めた。

「博士講座」や「洗剤の残留実験」について、参加者からは「生活排水対策への取り組み方など実践を交えた説明が分かりやすく、理解できた。」等の感想があり、水環境改善意識の啓発プログラムとして有効なものとなった。

- ・平成30年7月16日：みんなのかっぱ教室（明日香村 飛鳥歴史公園）
参加者：約150名
- ・平成30年11月1日：大和川博士のお話し会（大阪市 大阪市立矢田北小学校）
参加者：約130名
- ・平成30年11月10日：ふれあい土木展（近畿技術事務所）
参加者：約1700名
- ・平成31年1月17日：アクリルタワシ作製講座（斑鳩町 いかるがホール）
参加者：49名
- ・平成31年1月24日：アクリルタワシ作製講座（桜井市 市立中央公民館）
参加者：26名
- ・平成31年2月7日：アクリルタワシ作製講座（奈良市 県文化会館）
参加者：42名
- ・平成31年2月10日：アクリルタワシ作製講座（大和高田市 有井集会所）
参加者：34名
- ・平成31年2月14日：アクリルタワシ作製講座（御所市 市立中央公民館）
参加者：14名



7/16 みんなのかっぱ教室



アクリルタワシ作製講座

(6) 水環境巡回パネル展（発生源対策：環境学習・体験学習の推進）

市町村が取り組む PR 行事とタイアップして実施し、流域の方々に大和川の水環境の現状を知ってもらい、さらには水質改善の取り組みの必要性について理解・関心、協力していただくことを目的に実施している。

■取組結果等

平成 30 年度は、奈良県域 7 箇所、大阪府域 3 箇所の計 10 箇所で実施し、展示パネルは「大和川が汚れる原因」「水質改善への取り組み」等を紹介。併せてパンフレット、チラシを配布した。

[巡回パネル展(展示)]

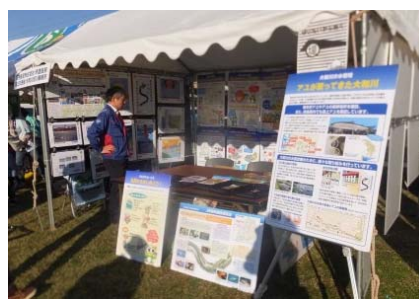
- ・平成 30 年 5 月 6 日：楽しいんやさかい大和川～水辺の楽校まつり～2018
(堺市 浅香水辺の楽校) ブース来訪者：約 200 名
- ・平成 30 年 11 月 3 日：北区域交流まつり 2018 (堺市 金岡公園野球場)
- ・平成 31 年 1 月 27 日：大和川コンクール 入賞作品・水環境パネル展示
(王寺町 地域交流センター)
※常駐していなかったため、ブース来訪者数は不明

[パネルイベント活用(貸し出し)]

- ・平成 30 年 7 月 10 日～7 月 16 日：奈良県山の日・川の日に関する啓発パネル展、大和川コンクール入賞作品展 (奈良県立図書情報館)
- ・平成 31 年 2 月 1 日～2 月 8 日：奈良市巡回パネル展
((財)奈良市生涯学習財団 奈良市西部公民館)
- ・平成 31 年 2 月 5 日～2 月 11 日：大和川水質改善強化月間・生活排水対策パネル展
(奈良県立図書情報館)
- ・平成 31 年 2 月 5 日～2 月 11 日：柏原市コンクール作品展 (柏原リビエールホール)
- ・平成 31 年 2 月 12 日～2 月 15 日：奈良市巡回パネル展 (奈良市役所)
- ・平成 31 年 2 月 18 日～2 月 22 日：奈良市巡回パネル展
(はぐくみセンター(奈良市保健所・教育総合センター))
- ・平成 31 年 2 月 19 日：生活排水対策パネル展、大和川コンクール入賞作品展
(イオンモール大和郡山)



5/6 水辺の楽校まつり



11/3 北区域交流まつり

(7) 大和川【絵・ポスター・作文・写真】コンクール(発生源対策：生活排水対策の推進)

「泳いで遊べるきれいな大和川」を目指して昭和60年から始まった本コンクール。作品応募を通して、大和川の水環境の大切さを実感していただくことを目的としている。

■取組結果等

今回で34回目となり、応募総数2,420点(累計117,616点)の中から、絵、ポスター、作文、写真の各部門から36作品と地域環境教育奨励賞を2校表彰した。表彰式当日は、賞状授与と合わせて受賞者へのインタビューを行い、作品に込めた大和川への思いや受賞した感想を聞くことができた。

日時：平成31年1月27日(日)13:00～15:00

会場：王寺町地域交流センター

テーマ：「キラキラわくわく♪大和川」



大和川コンクール表彰式の記念撮影



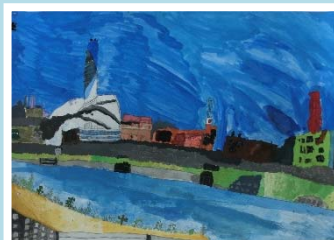
表彰状授与式の様子



受賞者インタビューの様子



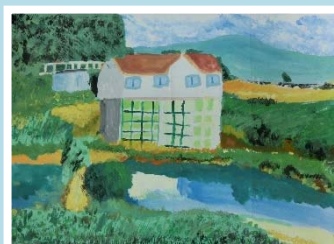
入賞作品の展示状況



＜絵の部 近畿地方整備局長賞＞



＜ポスターの部 大阪府知事賞＞



＜絵の部 奈良県知事賞＞



＜写真の部 奈良県知事賞＞

(8) 大和川水環境協議会 大阪府域連絡会

1) 親と子のふれあい自然学習会（発生源対策：環境学習・体験学習の推進）

■概要

身近な河川の自然に触れることによって、子どもたちの河川に対する豊かな感受性を育てるため、環境教育事業の一環として、南河内3市2町1村で共同し、次の事業を開催した。

■取組結果等

- ・と き：平成30年8月7日(火)
- ・と ころ：石川上流 河内長野市滝畑（出合橋付近）
- ・内 容：水生生物及び魚の展示並びに解説を行い、その地域にいる生物から川の汚れの程度を調査する。
- ・参加者：主催市町村に居住又は在勤の親子等
- ・主 催：南河内3市2町1村
(河内長野市、富田林市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村)
大和川水環境協議会大阪府域連絡会



2) その他

■大和川水質改善検討チームの取り組み

大和川やその流入河川の一層の水質改善を図るため、啓発等の取り組みを実施した。

(構成：健康医療部環境衛生課、都市整備部河川室河川環境課、都市整備部下水道室事業課、環境農林水産部環境管理室環境保全課・事業所指導課)

○流域市町村との連携

- ・生活排水処理計画の見直しに関する助言等（随時）

平成 30 年 7 月～12 月 富田林市

○啓発事業（国・市町村等啓発事業への協力を含む）

※ 2 月は生活排水対策推進月間及び大和川水質改善強化月間

- ・生活排水対策パネル展示・チラシ設置

平成 30 年 11 月 18 日 松原市立第五中学校（いきいき環境フェスタ）

※大阪府南部流域下水道事務所が参加

平成 31 年 2 月 1 日～ 8 日 羽曳野市役所、河内長野市役所

平成 31 年 2 月 15 日～22 日 富田林市役所、太子町役場

平成 31 年 2 月 22 日～ 3 月 1 日 藤井寺市役所

平成 31 年 2 月 25 日～ 3 月 1 日 松原市役所

- ・生活排水対策チラシ設置

平成 31 年 2 月 1 日～28 日 柏原市役所、大阪狭山市役所、河南町役場、千早赤阪村役場

- ・駅前街頭啓発

平成 31 年 2 月 8 日 近鉄古市駅

平成 31 年 2 月 13 日 近鉄河内天美駅、近鉄河内松原駅

- ・大和川・石川クリーン作戦への参加

平成 31 年 3 月 3 日 堺市内



(9) 大和川水環境協議会 奈良県地域連絡会

1) アクリルタワシ作製講座（発生源対策：環境学習・体験学習の推進）

■概要

大和川の水質ランキングワースト上位の大和川の水質汚濁源の約7割を占める生活排水への対策として、生活排水対策の意義と方法を学ぶとともに洗剤を使わなくても食器等がきれいに洗える”アクリルタワシ”を作製してもらい、水が汚れる原因と家庭でできる対策について考える機会を提供した。



■取組結果等

大和川流域で6回実施

NO	実施日	実施市町村	会場	参加者数
1	平成31年1月17日	斑鳩町	いかるがホール ※	49人
2	平成31年1月24日	桜井市	市立中央公民館 ※	26人
3	平成31年2月7日	奈良市	県文化会館 ※	42人
4	平成31年2月10日	大和高田市	有井集会所 ※	34人
5	平成31年2月14日	御所市	市立中央公民館 ※	14人
6	平成31年2月19日	大和郡山市	イオンモール大和郡山	80人

※印の会場については、併せて「大和川博士講座」を実施。

2) 啓発イベント（発生源対策：環境学習・体験学習の推進）

■概要

啓発イベント「ふるさと源流体験ツアー2018」に対して助成を行った。イベントでは、川遊びや水生昆虫観察、竹クラフト工作を実施するとともに水質調査を行い、川と親しみ、「きれいな大和川を取り戻すためにわたしたちができることは何か」を考えていただき、水環境改善についての意識向上を図った。



■取組結果等

<実施日> 平成30年7月16日（月・祝）

<場所> 葛城市

<参加者> 小学生以下の子どもとその保護者等120名

<助成先> 大和川わくわくフェスタ実行委員会

（事務局：NPO法人奈良NPOセンター）



3) 生活排水対策パネル展、「大和川コンクール」入賞作品展(発生源対策:生活排水対策の推進)

■概要

大和川の水質改善を目的に、生活排水対策パネル展及び大和川クリーンキャンペーンの一環として開催された「大和川コンクール」入賞作品展を実施した。

■取組結果等

- ・平成30年7月10日～16日 県立図書館情報館
- ・平成31年2月 5日～11日 県立図書館情報館
- ・平成31年2月19日 イオンモール大和郡山
(アクリルタワシ作製講座と同時開催)



(10) 大和川水環境協議会 奈良県地域連絡会「大和川清流復活ネットワーク」

1) ホームページ運営（発生源対策：生活排水対策の推進）

■概要

「大和川清流復活ネットワーク」は、奈良県において行政と民間団体(NPO)と企業が連携して、大和川の水質改善に取り組み、清流を復活させることを目的に平成20年度に設立した。ネットワークでは『よみがえれ！大和川清流復活大作戦』という専用ホームページを開設し、大和川の水質現況や各種取り組みの状況など様々な情報発信を行っているが、今年度においても引き続き情報発信を行い、大和川の水質改善のPRを行った。



■取組結果等

ホームページの運営（サーバ管理含む）を行い、大和川の水質状況や各種取り組みの紹介等様々な情報発信を行った。

2) 啓発活動（発生源対策：生活排水対策の推進）

■概要

駅前・ショッピングセンター等において、啓発チラシ・啓発物品を配布し、流域住民に対して各自でできる生活排水をできるだけ汚さない取り組みの実施を呼びかけるなど、大和川の水質改善についてのPRを行った。

また、毎年3月第1日曜日に実施している「大和川一斉清掃」を広く周知し、参加者の増加を図るため広報誌への記事掲載を行った。

■取組結果等

<街頭啓発活動>

実施日	実施場所
平成31年2月4日	ザ・ビッグ天理店
平成31年2月5日	近鉄郡山駅、イオンいかるが店、スーパーエバグリーン広陵店、エコールマミ
平成31年2月6日	JR奈良駅、近鉄奈良駅、JR王寺駅、近鉄大和八木駅、近鉄高田駅、近鉄田原本駅、近鉄生駒駅、アピタ西大和、ザ・ビッグエクストラ平群店
平成31年2月13日	近鉄五位堂駅

<記事掲載>

平成31年2月15日発行

ならリビング（北和・中和版に掲載）



3) 大和川清流復活ネットワーク会議の開催（重点区域における対策）

■概要

大和川清流復活ネットワークの取り組み状況や大和川の現状等について報告を行い、今後の取り組みについても意見交換を行った。

■取組結果等

実施日：平成31年1月30日（水）

場 所：奈良県流域下水道センター

議 事：①大和川の水質現況について

②情報発信「水質課題の見える化」について

③重点対策支川について

④大和川一斉清掃の実施について

⑤大和川水質改善強化月間該当啓発活動について



(11)「大和川のきれい化」推進 大和川重点対策支川部会

水質改善の遅れている支川を対象に、流域の自治体や団体等と連携・協働しながら、水質改善・きれいな水辺空間づくりに取り組むため、大和川重点対策支川部会を立ち上げた。

■取組結果等

1) 現状分析・課題整理の実施

高田川・土庫川・葛城川流域について、「大和川のきれい化」実践計画を作成した。また、広報誌掲載や普及・啓発チラシの作成を行った。大和川重点対策支川部会（大和郡山・斑鳩・安堵エリア）を設置し、現状と課題について整理した。

2) 会議の開催

第1回大和川重点対策支川部会 県・市町担当課長会議

実施日：平成30年7月4日

場 所：流域下水道センター

議 事：①大和川重点対策支川部会 県・市町担当課長会議について
②三代川・岡崎川流域の水質等調査について
③その他

第2回大和川重点対策支川部会（大和高田・広陵エリア）

実施日：平成30年7月18日

場 所：奈良県産業会館

議 事：①「大和川きれい化」実践計画（高田川・土庫川・葛城川）について
②実践計画の推進について
③広報誌掲載記事、及び普及・啓発チラシについて

第2回大和川重点対策支川部会 県・市町担当課長会議

実施日：平成30年11月5日

場 所：流域下水道センター

議 事：①三代川・岡崎川流域の現状と課題について
②大和川重点対策支川部会（大和郡山・斑鳩・安堵エリア）の設置について
③その他

第1回大和川重点対策支川部会（大和郡山・斑鳩・安堵エリア）

実施日：平成31年1月31日

場 所：流域下水道センター

議 事：①「きれいに暮らす奈良県スタイル」行動計画について
②三代川・岡崎川流域の現状分析と課題について
③（仮称）「地域実践計画」の策定に向けた検討事項について